

平成20年度兵庫県公立高等学校入学者選抜
における複数志願選抜及び特色選抜の検証結
果について(神戸第三、姫路・福崎、加印、北
播、尼崎、明石学区)

検証のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

志願者数、志願・合格状況等のデータとその分析・・・ 5

新入生、新入生保護者、中学校及び高等学校対象の
アンケート実施結果とその分析・・・・・・・・ 16

はじめに

兵庫県教育委員会では、個性を尊重する多様で柔軟な高等学校教育を目指し、県立高等学校教育改革第一次実施計画に従って、新しいタイプの学校の設置をはじめ、学びたいことが学べる魅力ある学校づくりを推進している。

また、特色ある学校づくりと併せ、入学者選抜制度においても、単独選抜と総合選抜の長所を取り入れた複数志願選抜と、各学校が特色ある教育内容に即して生徒の多様な個性や優れた点等を評価する特色選抜を導入している。平成15年度入学者選抜から神戸第三学区、平成17年度入学者選抜から姫路・福崎学区、平成18年度から加印学区、平成19年度から北播学区、そして平成20年度からは、総合選抜の学区であった尼崎学区と明石学区に導入したところである。今後は平成21年度から西宮学区と伊丹学区、平成22年度から神戸第一・芦屋学区と神戸第二学区および宝塚学区においても実施することとしている。

この新しい選抜制度は、過度の受験競争や学校間の序列を緩和し、生徒がそれぞれの学校の特色や自分の適性・進路希望等に応じて、「学びたいことが学べる」学校を選択できることを目的としている。

そこで、この新しい選抜制度について、平成15年度から平成19年度までと同様、平成20年度においても、生徒の志願動向や合否の状況などの検証を行うとともに、高等学校新入生及びその保護者、中学校、高等学校を対象として実施したアンケート調査の結果をまとめた。その結果をみると、姫路・福崎学区、加印学区、北播学区において制度が定着したことが読み取れる。また、実施初年度の尼崎学区と明石学区も、神戸第三学区、姫路・福崎学区、加印学区及び北播学区の初年度とほぼ同じ傾向が見られ、いずれも新しい選抜制度の目的に沿ったものとなっている。

今後とも、新しい選抜制度について県民の理解が一層進み、定着が図れるよう努めたい。

検証のまとめ

平成20年度の検証にあたっては、平成15年度から19年度までと同様、志願状況・合格状況等のデータの分析を行うとともに、4月に神戸第三、姫路・福崎、加印、北播、尼崎および明石学区の新入生、保護者、中学校及び高等学校へのアンケートを実施した。（神戸第三学区は中学校及び高等学校へのアンケートのみ）その結果、下記のとおり、実施を重ねるにつれて、制度の定着が進むとともに、新たに導入した総合選抜の学区についても、ほぼ新しい選抜制度の目的に沿った結果が得られた。

今後、生徒が「学びたいことが学べる」学校を選択できるよう、各学校の特色化をさらに推進するとともに、新しい選抜制度の理念の啓発に努めながら、制度を充実・定着させていきたいと考えている。

なお、具体的なデータ等については、次ページ以降の「志願者数、志願・合格状況等のデータとその分析」及び「新入生、新入生保護者、中学校及び高等学校対象のアンケート実施結果とその分析」において記載している。

(1) 全体のまとめ

- 1 学びたいことが学べる学校への志願が一層進んでいる。
 - (1) いずれの学区においても学びたい学校を志願し、合格者のうち第1志望校に合格した割合が90%をこえている。
 - (2) いずれの学区においても、新入生及び保護者の約90%が高校生活について「充実している」と答えている。また、尼崎学区、明石学区では総合選抜時と比較して、満足度が高くなっている。
 - (3) いずれの学区においても、複数校に志願した受検生の合格率が高く、昨年度までと同様にセーフティーネットの効果が現われている。また、尼崎学区、明石学区では第2志望校を記入する者や、第1、第2志望以外の学校の入学を希望する者の割合が高くなっており、両学区において複数志願選抜がセーフティーネットとして、総合選抜時と同様有効に働いている。
- 2 目的意識を持った幅広い学校選択が進み、学校の活性化につながっている。
 - (1) 複数志願選抜における第1志望校の決め手については、尼崎学区、明石学区を含めいずれの学区においても、「校風・学校の雰囲気」が多い。また、学校ごとに決め手の理由に特徴があるなど、学校の特色に応じた選択がなされている。
 - (2) 特色選抜における志望校の決め手については、いずれの学区においても、「特色ある学習内容」が最も多く、受検生は各校の特色を理解した上で志望している。その結果、学校生活に積極的に取り組む入学生が増え、学校の活性化につながっている。
- 3 新しい選抜制度の周知・理解が進み、制度の定着が進んでいる。
 - (1) 実施3年目の加印学区及び実施2年目の北播学区では、制度を「理解していた」と答えた新入生・保護者の割合が増え、制度の定着が進んでいる。
 - (2) 尼崎学区、明石学区では、いずれも新入生の約85%、保護者の約90%が複数志願選抜を理解しており、制度を円滑に導入することができた。

(2) 総合選抜から移行した尼崎学区及び明石学区のまとめ

- 1 学びたいことが学べる学校への志願が行われ、満足度も高くなっている。
- (1) 両学区とも学びたい学校を志願し、合格者のうち第1志望校に合格した割合が94%となっている。
- (2) 両学区とも、総合選抜最終年度と比較して、新入生の「高校生活が充実している」割合が合格者全体でも、第1志望以外に合格した新入生でも高くなっている。

<「大変充実している」+「充実している」の割合の比較>

学区	H19 (総合選抜最終年度)		H20 (複数志願選抜初年度)	
尼崎学区	合格者全体	86.0%	合格者全体	87.7%
	志願校以外合格者	73.7%	第2志望合格者	84.6%
			その他校合格者	79.4%
明石学区	合格者全体	87.0%	合格者全体	89.8%
	志願校以外合格者	76.3%	第2志望合格者	90.7%
			その他校合格者	80.0%

- (3) 第2志望校を記入する者の割合は、尼崎学区で88.9%、明石学区で98.1%となり、既導入学区(神戸第三69.4%、姫路・福崎65.3%、加印75.8%、北播63.7%)と比べて高くなっている。また、第1、第2志望以外の学校の入学を希望する者の割合も、尼崎学区で70.6%、明石学区で95.4%となり、既導入学区(神戸第三21.4%、姫路・福崎3.1%、加印15.1%、北播8.2%)と比べてかなり高くなっている。

- 2 総合選抜であった両学区においても、既導入学区と同様に学校の特色に応じた学校選択が行われている。

- (1) 複数志願選抜における第1志望校の決め手については、両学区とも「校風・学校の雰囲気」が最も多くなっている。また、学校ごとにみると、「特色ある学習内容」が多い学校、「部活動」が多い学校、「学校行事・特別活動」が多い学校など、学校の特色に応じた幅広い学校選択が行われている。その結果、居住地から通学時間が最も短い学校に入学した生徒の割合は、尼崎学区では約46%、明石学区では約43%となっている。
- (2) 特色選抜における志望校の決め手については、両学区とも「特色ある学習内容」が最も多い。また、高等学校長は尼崎学区では5校中4校、明石学区では2校とも特色選抜で入学した生徒は、複数志願選抜で入学した生徒と比較して積極的であると答えており、学校の活性化にもつながっている。

- 3 新しい選抜制度の理解が進み、制度を円滑に導入できた。

- (1) 複数志願選抜を理解していた割合は、新入生・保護者とも高くなっている。ただ、新入生における割合(尼崎学区では約86%、明石学区では約85%)は、既導入学区の初年度の割合(神戸第三約88%、姫路・福崎約89%、加印約93%、北播約88%)と比べるとわずかながら低い。一方、保護者では、尼崎学区では約91%、明石学区では約92%で、既導入学区の初年度の割合(神戸第三約91%、姫路・福崎約91%、加印約92%、北播約90%)とほぼ同じである。
- (2) 特色選抜を理解していた割合は、新入生において、尼崎学区では約92%、明石学区では約91%である。この割合は、既導入学区の初年度の割合(神戸第三約96%、姫路・福崎約84%、加印約92%、北播約85%)と比べても高い。

志願者数、志願・合格状況等のデータとその分析

1 定員、志願者数、受検者数、合格者数、受検倍率について

(1) 複数志願選抜について

神戸第三学区及び姫路・福崎学区の倍率をみると全県の倍率より高いものとなっている。姫路福崎学区では各学校の倍率について、隔年現象の傾向が見られる。

加印学区及び北播学区においては、各区全体で定員割れとなったこともあり、加印学区で2校、北播学区で5校が定員割れとなった。

平成20年度が実施初年度となる尼崎学区及び明石学区では、総合選抜最終年度の倍率よりやや高いものとなった。

a 神戸第三学区

複数志願選抜対象高校名	総募集定員	複数志願選抜募集定員	志願者数(第1志望)	複数志願選抜対象校以外への志願変更等	受検者数(第1志望)	(第2志望)各高校を第2志望とした者の数	合格者数	H20倍率	H19倍率	H18倍率	H17倍率	H16倍率
長田	320	320	344	3	341	1	320	1.07	1.21	1.07	1.23	1.06
須磨東	280	280	354	14	340	190	280	1.21	1.09	1.11	1.03	1.11
星陵	320	304	364	15	349	165	304	1.14	1.13	1.27	1.42	1.26
舞子	240	240	264	1	263	248	240	1.10	0.97	1.02	1.05	1.01
伊川谷北	320	288	404	11	393	150	288	1.22	1.48	1.24	1.14	1.45
伊川谷	280	240	271	4	267	265	240	1.11	1.02	1.08	1.06	1.19
神戸高塚	280	240	225	4	221	226	240	0.92	0.90	1.08	0.94	1.23
市須磨	200	170	230	4	226	275	170	1.32	1.29	1.25	1.28	1.14
市神戸西	200	170	223	7	216	295	170	1.27	1.23	1.04	1.25	1.03
H20 計	2440	2252	2679	63	2616	1815	2252	1.16	1.14	1.13	1.15	1.17
H19 計	2400	2216	2582	54	2528	1594	2216	-	-	-	-	-
H18 計	2520	2338	2705	58	2647	-	2338	-	-	-	-	-
H17 計	2560	2408	2812	35	2777	-	2408	-	-	-	-	-
全県の全日制普通科高等学校の倍率(単位制を除く)								1.05	1.06	1.06	1.07	1.06

「倍率」 = 「受検者数」 ÷ 「複数志願選抜募集定員」

b 姫路・福崎学区

複数志願選抜対象高校名	総募集定員	複数志願選抜募集定員	志願者数 (第1志望)	複数志願選抜対象校以外への志願変更等	受検者数 (第1志望)	(第2志望) 各高校を第2志望とした者の数	合格者数	H20 倍率	H19 倍率	H18 倍率	H17 倍率	H16 倍率
姫路別所	200	170	196	2	194	147	170	1.14	0.82	1.11	1.20	1.15
姫路西	280	280	313	10	303	0	280	1.08	1.20	1.14	1.07	1.03
姫路飾西	160	160	160	2	158	94	160	0.99	1.54	0.84	1.25	1.12
姫路南	240	204	200	8	192	114	204	0.94	1.05	1.26	0.97	1.07
網干	200	170	170	2	168	160	170	0.99	1.07	1.21	1.04	1.19
家島	40	34	26	1	25	13	34	0.74	0.53	1.00	0.29	0.74
夢前	120	102	102	2	100	82	102	0.98	1.14	0.90	1.03	0.97
神崎	80	68	105	4	101	68	68	1.49	1.29	1.28	1.22	1.05
福崎	200	200	200	7	193	139	200	0.97	1.00	0.94	0.95	1.09
市姫路	240	240	346	31	315	154	240	1.31	1.02	1.24	1.39	1.16
市琴丘	240	240	281	8	273	209	240	1.14	1.01	0.88	1.21	1.04
市飾磨	240	240	283	4	279	323	240	1.16	1.05	1.10	1.29	1.15
H20 計	2240	2108	2382	81	2301	1503	2108	1.09	1.07	1.07	1.14	1.10
H19 計	2200	2068	2316	101	2215	-	2054	-	-	-	-	-
H18 計	2280	2149	2386	76	2310	-	2131	-	-	-	-	-
H17 計	2320	2228	2600	108	2492	-	2188	-	-	-	-	-
全県の全日制普通科高等学校の倍率(単位制を除く)								1.05	1.06	1.06	1.07	1.06

「倍率」 = 「受検者数」 ÷ 「複数志願選抜募集定員」

c 加印学区

複数志願選抜対象高校名	総募集定員	複数志願選抜募集定員	志願者数 (第1志望)	複数志願選抜対象校以外への志願変更等	受検者数 (第1志望)	(第2志望)各高校を第2志望とした者の数	合格者数	H20 倍率	H19 倍率	H18 倍率	H17 倍率
加古川東	280	280	303	8	295	0	280	1.05	1.21	1.02	1.11
加古川西	320	304	327	15	312	169	304	1.02	1.27	1.15	1.13
高砂	280	240	272	4	268	179	240	1.12	1.08	1.23	1.05
高砂南	280	240	224	2	222	219	231	0.93	1.10	1.02	1.02
松陽	120	104	96	1	97	213	104	0.93	0.99	1.15	1.09
東播磨	280	240	244	6	238	247	240	0.99	1.13	1.06	1.10
播磨南	240	240	192	11	203	213	217	0.85	0.98	1.00	1.05
H20 計	1800	1648	1658	23	1635	1240	1616	0.99	1.13	1.08	1.08
H19 計	1800	1646	1907	53	1854	1368	1646	-	-	-	-
H18 計	1800	1658	1862	65	1797	-	1658	-	-	-	-
H17 計	1840	1840	1954	30	1984	-	1840	-	-	-	-
全県の全日制普通科高等学校の倍率（単位制を除く）								1.05	1.06	1.06	1.07

「倍率」 = 「受検者数」 ÷ 「複数志願選抜募集定員」

d 北播学区

複数志願選 抜対象高校 名	総募集 定員	複数志 願選抜 募集定 員	志願者数 (第1志 望)	複数志願 選抜対象 校以外へ の志願変 更等	受検者数 (第1志 望)	(第2志望) 各高校を第2志 望とした者の 数	合格者数	H20 倍率	H19 倍率	H18 倍率
西脇	280	252	251	6	245	50	248	0.97	1.04	1.00
三木	280	280	305	5	300	119	280	1.07	1.02	1.00
三木北	200	200	175	8	167	263	191	0.84	0.85	0.99
小野	200	200	232	8	224	0	200	1.12	1.19	1.06
北条	160	152	158	6	152	59	152	1.00	0.98	1.00
吉川	120	108	86	0	86	106	88	0.80	1.05	1.01
社	160	160	147	4	143	259	147	0.89	1.38	1.04
多可	160	136	121	6	127	65	127	0.93	0.85	0.91
H20 計	1560	1488	1475	31	1444	921	1433	0.97	1.04	1.00
H19 計	1640	1566	1652	27	1625	1025	1566	-	-	-
全県の全日制普通科高等学校の倍率(単位制を除く)								1.05	1.06	1.06

「倍率」 = 「受検者数」 ÷ 「複数志願選抜募集定員」

e 尼崎学区

複数志願選抜対象高校名	総募集定員	複数志願選抜募集定員	志願者数 (第1志望)	複数志願選抜対象校以外への志願変更等	受検者数 (第1志望)	(第2志望)各高校を第2志望とした者の数	合格者数	H20 倍率	H19 倍率
尼崎小田	200	200	207	5	202	106	200	1.01	-
尼崎	280	240	313	16	297	410	240	1.24	-
尼崎北	280	252	225	6	219	57	252	0.87	-
尼崎西	200	170	244	13	231	270	170	1.36	-
市尼崎東	200	185	242	13	229	283	185	1.24	-
市尼崎	240	204	238	7	231	126	204	1.13	-
H20 計	1400	1251	1469	60	1409	1252	1251	1.13	1.08
全県の全日制普通科高等学校の倍率(単位制を除く)								1.05	1.06

「倍率」 = 「受検者数」 ÷ 「複数志願選抜募集定員」

f 明石学区

複数志願選抜対象高校名	総募集定員	複数志願選抜募集定員	志願者数 (第1志望)	複数志願選抜対象校以外への志願変更等	受検者数 (第1志望)	(第2志望)各高校を第2志望とした者の数	合格者数	H20 倍率	H19 倍率
明石	320	280	344	7	337	212	280	1.20	-
明石北	320	320	389	12	377	164	320	1.18	-
明石城西	320	320	335	5	330	369	320	1.03	-
明石清水	320	320	335	14	321	415	320	1.00	-
明石西	320	280	286	9	277	451	280	0.99	-
H20 計	1600	1520	1689	47	1642	1611	1520	1.08	1.04
全県の全日制普通科高等学校の倍率(単位制を除く)								1.05	1.06

「倍率」 = 「受検者数」 ÷ 「複数志願選抜募集定員」

(2) 特色選抜について

神戸第三学区、姫路・福崎学区、加印学区及び北播学区では、いずれも落ち着いた倍率になっている。

平成20年度が実施初年度となる尼崎学区及び明石学区では、学区内倍率が1.49倍及び1.08倍で落ち着いた倍率となっている。

a 神戸第三学区

対象高校名	入学者の定員	特色選抜定員	割合	志願者数	受検者数	合格者数	H20倍率	H19倍率	H18倍率	H17倍率
星陵	320	16	5%	33	33	16	2.06	2.31	4.31	4.06
伊川谷北	320	32	10%	75	75	32	2.34	3.36	3.75	3.41
伊川谷	280	40	上限	72	72	40	1.80	2.08	1.71	1.71
神戸高塚	280	40	上限	83	83	40	2.08	1.33	2.30	2.88
市須磨	200	30	15%	66	66	30	2.20	2.93	2.50	3.50
市神戸西	200	30	15%	73	72	30	2.40	2.43	2.53	4.35
計	1600	188	-	402	401	188	2.13	2.33	2.72	3.20

b 姫路・福崎学区

対象高校名	入学者の定員	特色選抜定員	割合	志願者数	受検者数	合格者数	H20倍率	H19倍率	H18倍率	H17倍率
姫路別所	200	30	15%	54	54	30	1.80	1.37	1.80	2.80
姫路南	240	36	15%	70	70	36	1.94	1.86	2.00	2.54
網干	200	30	15%	47	47	30	1.57	1.97	0.97	1.70
家島	40	6	15%	10	10	6	1.67	2.00	3.00	1.88
夢前	120	18	15%	24	24	18	1.33	1.89	1.28	2.50
神崎	80	12	15%	44	44	12	3.67	1.00	1.58	4.13
計	880	132	-	249	249	132	1.89	1.70	1.63	2.49

c 加印学区

対象高校名	入学者の定員	特色選抜定員	割合	志願者数	受検者数	合格者数	H20倍率	H19倍率	H18倍率
加古川西	320	16	5%	50	50	16	3.13	3.06	9.06
高砂	280	40	上限	78	78	40	1.95	2.25	2.85
高砂南	280	40	上限	79	77	40	1.93	1.78	2.83
松陽	120	18	15%	16	16	16	0.89	1.06	1.50
東播磨	280	40	上限	66	66	40	1.65	1.83	2.82
計	1280	154	-	289	287	152	1.86	1.96	3.37

d 北播学区

対象高校名	入学者の定員	特色選抜定員	割合	志願者数	受検者数	合格者数	H20倍率	H19倍率
西脇	280	28	10%	41	41	28	1.46	1.46
北条	160	8	5%	17	17	8	2.13	1.00
吉川	120	12	10%	16	16	12	1.33	1.17
多可	160	24	15%	29	29	24	1.21	2.17
計	720	72	-	103	103	72	1.43	1.58

e 尼崎学区

対象高校名	入学者の定員	特色選抜定員	割合	志願者数	受検者数	合格者数	H20倍率
尼崎	280	40	上限	60	60	40	1.50
尼崎北	280	28	10%	50	50	28	1.79
尼崎西	200	30	15%	31	31	30	1.03
市尼崎東	200	20	10%	15	15	15	0.75
市尼崎	240	36	15%	75	73	36	2.03
計	1200	154	-	231	229	149	1.49

f 明石学区

対象高校名	入学者の定員	特色選抜定員	割合	志願者数	受検者数	合格者数	H20倍率
明石	320	40	上限	44	44	40	1.10
明石西	320	40	上限	42	42	40	1.05
計	640	80	-	86	86	80	1.08

2 学びたい学校への志願・合格状況について

(1) 志願パターン別志願・合格状況

神戸第三学区では、第1志望校のみを志願した受検生は、全体の約30%であった。これまで増加傾向にあったが、今回は約6%減少し、第2志望校を志願する受検生が増加した。また、その他校を志願した割合も、今回約5%増加した。

姫路・福崎学区では、第1志望校のみを志願した受検生は全体の3分の1で、昨年度とほぼ同じである。その他校を志願した割合は全学区中最も低い、わずかだが増加傾向にある。

加印学区では、第1志望校のみを志願した受検生が約2%減少しており、第2志望校を志願する受検生が少しずつ増加する傾向にある。

北播学区では、第1志望校のみを志願した受検生は、全体の約3分の1で、昨年度とほぼ同じである。その他校を志願した割合は、姫路・福崎学区に次いで少ない。

尼崎学区では、第1志望校のみを志願した受検生が約9%で、約90%の受検生が第2志望校を志願した。その他校を志願した割合も約7.1%と高い。

明石学区では、第1志望校のみを志願した受検生はわずか2%で、その他校を志願した割合も約9.5%と全学区中最も高い割合となった。

いずれの学区においても第1志望校のみの受検生の合格率に比べて複数志願をした受検生の合格率は高い。

a 神戸第三学区(9校計)

志願パターン	志願状況					合格状況					
	人数	H20割合	H19割合	H18割合	H17割合	合格	不合格	H20合格率	H19合格率	H18合格率	H17合格率
第1志望のみ	767	29.3	35.4	33.3	32.2	582	185	75.9	77.8	78.5	76.5
第1志望校、第2志望校	1290	49.3	47.6	50.1	48.5	1199	91	92.9	95.3	94.6	93.5
第1・第2志望校、その他校	525	20.1	15.4	15.3	17.6	446	79	85.0	89.2	90.8	88.5
第1志望校、その他校	34	1.3	1.5	1.4	1.7	25	9	73.5	61.5	69.4	66.7
計	2616	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	2252	364	86.1	87.7	88.3	86.7

注：「その他校」：第1志望、第2志望以外の学校

b 姫路・福崎学区(12校計)

志願パターン	志願状況					合格状況					
	人数	H20割合	H19割合	H18割合	H17割合	合格	不合格	H20合格率	H19合格率	H18合格率	H17合格率
第1志望のみ	797	34.6	34.4	41.3	37.0	654	143	82.1	84.1	84.6	75.5
第1志望校、第2志望校	1433	62.3	62.8	57.9	60.3	1391	42	97.1	97.1	97.6	95.3
第1・第2志望校、その他校	70	3.0	2.4	0.8	2.4	62	8	88.6	100	100	88.1
第1志望校、その他校	1	0.1	0.3	0.04	0.3	1	0	100	100	100	100
計	2301	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	2108	193	91.6	92.7	92.3	86.7

注：「その他校」：第1志望、第2志望以外の学校

c 加印学区（7校計）

志願パターン	志願状況				合格状況				
	人数	H20割合	H19割合	H18割合	合格	不合格	H20合格率	H19合格率	H18合格率
第1志望のみ	382	23.4	25.5	27.5	365	17	95.5	74.0	84.6
第1志望校、第2志望校	1006	61.5	59.0	55.1	1004	2	99.8	94.5	96.6
第1・第2志望校、その他校	234	14.3	14.8	16.4	234	0	100	92.7	92.5
第1志望校、その他校	13	0.8	0.7	0.9	13	0	100	61.5	56.3
計	1635	100.0%	100.0%	100.0%	1616	19	98.8	88.8	92.3

注：「その他校」：第1志望、第2志望以外の学校

d 北播学区（8校計）

志願パターン	志願状況			合格状況			
	人数	H20割合	H19割合	合格	不合格	H20合格率	H19合格率
第1志望のみ	522	36.1	36.7	511	11	97.9	91.4
第1志望校、第2志望校	805	55.7	54.3	805	0	100	99.1
第1・第2志望校、その他校	116	8.0	8.7	116	0	100	100
第1志望校、その他校	1	0.2	0.3	1	0	100	100
計	1444	100.0%	100.0%	1433	11	99.2	96.4

注：「その他校」：第1志望、第2志望以外の学校

e 尼崎学区（6校計）

志願パターン	志願状況		合格状況		
	人数	H20割合	合格	不合格	H20合格率
第1志望のみ	120	8.5	92	28	76.7
第1志望校、第2志望校	294	20.9	287	7	97.6
第1・第2志望校、その他校	958	68.0	845	113	88.2
第1志望校、その他校	37	2.6	27	10	73.0
計	1409	100.0%	1251	158	88.8

注：「その他校」：第1志望、第2志望以外の学校

f 明石学区（5校計）

志願パターン	志願状況		合格状況		
	人数	H20割合	合格	不合格	H20合格率
第1志望のみ	26	1.6	22	4	84.6
第1志望校、第2志望校	49	3.0	47	2	95.9
第1・第2志望校、その他校	1562	95.1	1447	115	92.6
第1志望校、その他校	5	0.3	4	1	80.0
計	1642	100.0%	1520	122	92.6

注：「その他校」：第1志望、第2志望以外の学校

(2) 志願ごとの合格者数

いずれの学区においても、合格者のうち第1志望校に合格した受検生の割合が90%をこえていたが、加印学区と北播学区ではやや高めであった。

いずれの学区においても、合格者のうち第1または第2志望に合格した受検生の割合は、97%を越えている。

北播学区においては、その他校の合格者がなかった。

a 神戸第三学区(9校計)

志望	人数	H20割合	H19割合	H18割合	H17割合
第1志望	2053	91.2	91.2	92.0	92.1
第2志望	183	8.1	8.4	7.4	7.3
その他校	16	0.7	0.4	0.7	0.6
計	2252	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

b 姫路・福崎学区(12校計)

志望	人数	H20割合	H19割合	H18割合	H17割合
第1志望	1923	91.2	89.5	91.6	88.3
第2志望	182	8.6	10.3	8.4	11.6
その他校	3	0.1	0.2	0.1	0.1
計	2108	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

c 加印学区(7校計)

志望	人数	H20割合	H19割合	H18割合
第1志望	1568	97.0	84.4	94.3
第2志望	46	2.8	14.9	5.1
その他校	2	0.2	0.6	0.6
計	1616	100.0%	100.0%	100.0%

d 北播学区(8校計)

志望	人数	H20割合	H19割合
第1志望	1384	96.6	92.2
第2志望	49	3.4	7.4
その他校	0	0	0.4
計	1433	100.0%	100.0%

e 尼崎学区（6校計）

志望	人数	H20割合
第1志望	1176	94.0
第2志望	40	3.2
その他校	35	2.8
計	1251	100.0%

f 明石学区（5校計）

志望	人数	H20割合
第1志望	1435	94.4
第2志望	65	4.3
その他校	20	1.3
計	1520	100.0%

新入生、新入生保護者、中学校及び高等学校対象のアンケート実施結果とその分析

調査の概要

- 1 調査対象者（有効回答数 9,846名 / 10,342名、回答率 95.2%）
 - (1) 姫路・福崎学区、加印学区、北播、尼崎、明石学区の普通科（コースを除く）高校の新入生全員
 - (2) 姫路・福崎学区、加印学区、北播、尼崎、明石学区の普通科（コースを除く）高校の新入生保護者から各校40名
 - (3) 神戸第三学区、姫路・福崎学区、加印学区、北播、尼崎、明石学区の普通科高等学校長全員
 - (4) 神戸第三学区、姫路・福崎学区、加印学区、北播、尼崎、明石学区（自由学区を含む）の中学校長全員

2 詳細

(1) 神戸第三学区

種 類	対 象	形 式	有 効 回 答 数
高等学校長アンケート	対象校 9 校の高等学校長	選択方式及び自由記述方式	9名 (回答率100.0%)
中学校長アンケート	神戸第三学区内の市立中学校の校長 (39名)	選択方式及び自由記述方式	39名 (回答率100.0%)
小計	(48名)		48名 (回答率100.0%)

(2) 姫路・福崎学区

種 類	対 象	形 式	有 効 回 答 数
高校新入生アンケート	対象校 1 2 校の普通科（コースを除く）への高校新入生全員（2,240名）	選択方式	2,188名 (回答率97.7%)
高校新入生保護者アンケート	対象校 1 2 校の普通科（コースを除く）への高校新入生の保護者から抽出 (各校40人×12校=480名)	選択方式及び自由記述方式	431名 (回答率89.8%)
高等学校長アンケート	対象校 1 2 校の高等学校長	選択方式及び自由記述方式	12名 (回答率100.0%)
中学校長アンケート	姫路・福崎学区内の市町立中学校の校長 (50名)	選択方式及び自由記述方式	50名 (回答率100.0%)
小計	(2,782名)		2,681名 (回答率96.4%)

(3) 加印学区

種 類	対 象	形 式	有 効 回 答 数
高校新入生アンケート	対象校 7 校の普通科(コースを除く)への高校新入生全員 (1,800名)	選択方式	1,671名 (回答率92.8%)
高校新入生保護者アンケート	対象校 7 校の普通科(コースを除く)への高校新入生の保護者から抽出 (各校40人×7校=280名)	選択方式及び自由記述方式	233名 (回答率83.2%)
高等学校長アンケート	対象校 7 校の高等学校長	選択方式及び自由記述方式	7名 (回答率100.0%)
中学校長アンケート	加印学区内の市町立中学校の校長 (22名)	選択方式及び自由記述方式	22名 (回答率100.0%)
小計	(2,109名)		1,933名 (回答率91.7%)

(4) 北播学区

種 類	対 象	形 式	有 効 回 答 数
高校新入生アンケート	対象校 8 校の普通科(コースを除く)への高校新入生全員 (1,560名)	選択方式	1,491名 (回答率95.6%)
高校新入生保護者アンケート	対象校 8 校の普通科(コースを除く)への高校新入生の保護者から抽出 (各校40人×8校=320名)	選択方式及び自由記述方式	271名 (回答率84.7%)
高等学校長アンケート	対象校 8 校の高等学校長	選択方式及び自由記述方式	8名 (回答率100.0%)
中学校長アンケート	北播学区内の市町立中学校の校長 (29名)	選択方式及び自由記述方式	29名 (回答率100.0%)
小計	(1,917名)		1,799名 (回答率93.8%)

(5) 尼崎学区

種 類	対 象	形 式	有 効 回 答 数
高校新入生アンケート	対象校 6 校の普通科(コースを除く)への高校新入生全員 (1,400名)	選択方式	1,377名 (回答率98.4%)
高校新入生保護者アンケート	対象校6校の普通科(コースを除く)への高校新入生の保護者から抽出 (各校40人×6校=240名)	選択方式及び自由記述方式	200名 (回答率83.3%)
高等学校長アンケート	対象校 6 校の高等学校長	選択方式及び自由記述方式	6名 (回答率100.0%)
中学校長アンケート	尼崎学区内の市町立中学校の校長 (20名)	選択方式及び自由記述方式	20名 (回答率100.0%)
小計	(1,666名)		1,603名 (回答率96.2%)

(6) 明石学区

種 類	対 象	形 式	有 効 回 答 数
高校新入生アンケート	対象校 5 校の普通科(コースを除く)への高校新入生全員 (1,600名)	選択方式	1,579名 (回答率98.7%)
高校新入生保護者アンケート	対象校 5 校の普通科(コースを除く)への高校新入生の保護者から抽出 (各校40人×5校=200名)	選択方式及び自由記述方式	183名 (回答率91.5%)
高等学校長アンケート	対象校 5 校の高等学校長	選択方式及び自由記述方式	5名 (回答率100.0%)
中学校長アンケート	明石学区内の市町立中学校の校長 (15名)	選択方式及び自由記述方式	15名 (回答率100.0%)
小計	(1,820名)		1,782名 (回答率97.9%)

神戸第三学区では、導入後 5 回の検証における新入生及び新入生保護者へのアンケート結果について、制度の定着に伴いほぼ経年変化がみられない状況となってきたため、平成 20 年度から実施していない。

また、今回で導入後 4 回目の検証となる姫路・福崎学区における新入生及び新入生保護者へのアンケートについても、ほぼ経年変化がみられない項目を一部精選して実施した。3 回目の加印学区及び 2 回目の北播学区については、昨年度とアンケート項目の変更はない。

さらに、神戸第三学区と姫路・福崎学区への中学校長アンケートについても、項目を精選して実施した。

なお、今回初めて検証した尼崎学区及び明石学区については、昨年度のアンケート項目に一部新たな設問を加えるとともに、昨年度総合選抜で入学した新入生に対して実施したアンケート結果とも比較して分析を行った。

1 新入生の学校生活について
 (1) 高校生活の充実度について

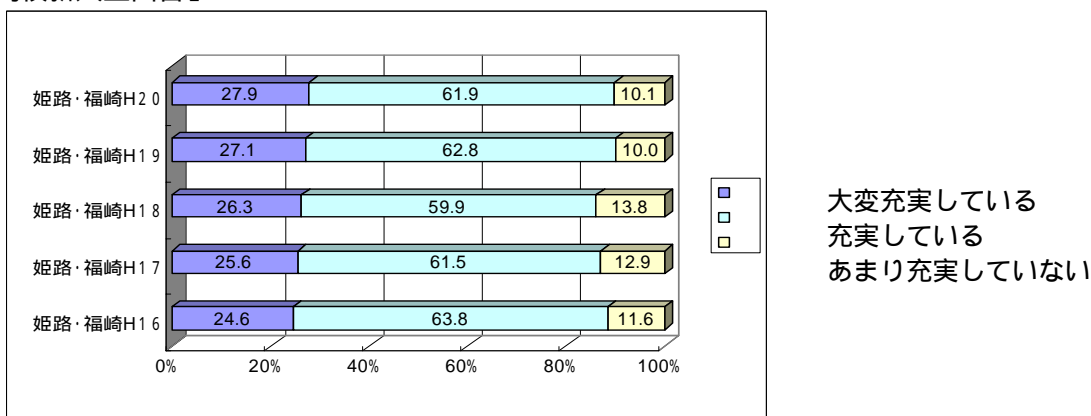
姫路・福崎学区、加印学区、北播学区においては、新入生の約88～90%、保護者の約94～96%が高校生活が充実していると答えており、引き続き高い割合である。入学区分別でみると、いずれの学区においても特色選抜で入学した生徒の充実度が高い。

尼崎学区と明石学区においては新入生の約88～90%、保護者の約91～92%が学校生活が充実していると答えており、新入生の充実度は総合選抜最終年度の19年度よりもやや高い。また、入学区分別でも、複数志願選抜の第2志望やその他校で入学した生徒の充実度は、総合選抜最終年度に第1志望校以外で入学した生徒の充実度より高い。

a 姫路・福崎学区

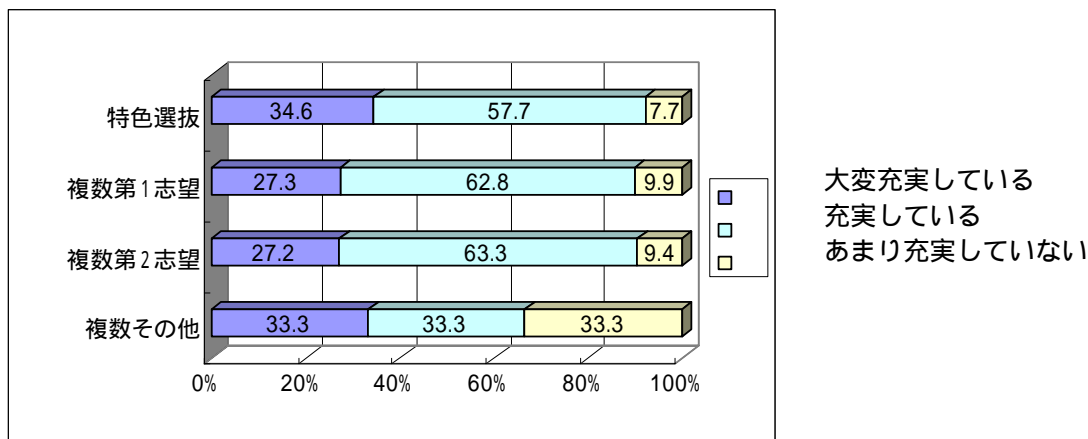
問 現在、充実した高校生活を送っていますか

【高校新入生回答】



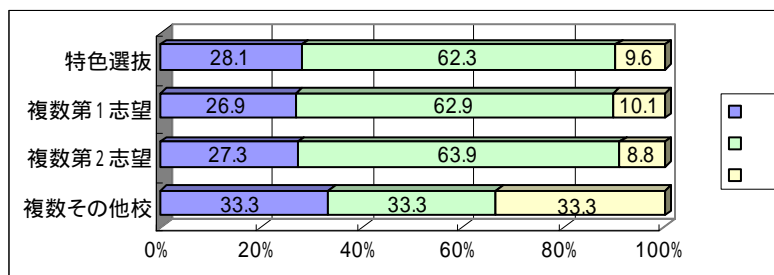
姫路・福崎H20：姫路・福崎学区平成20年度新入生を表す。なお、姫路・福崎H16は、単独選抜最終年度である。

[入学区分別]

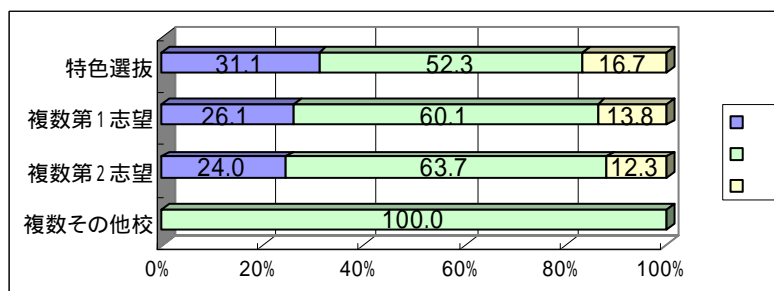


特色選抜：特色選抜で入学 (回答者は 130名)
 複数第1志望：複数志願選抜第1志望で入学 (回答者は1870名)
 複数第2志望：複数志願選抜第2志望で入学 (回答者は 180名)
 複数その他校：複数志願選抜その他校で入学 (回答者は 3名)

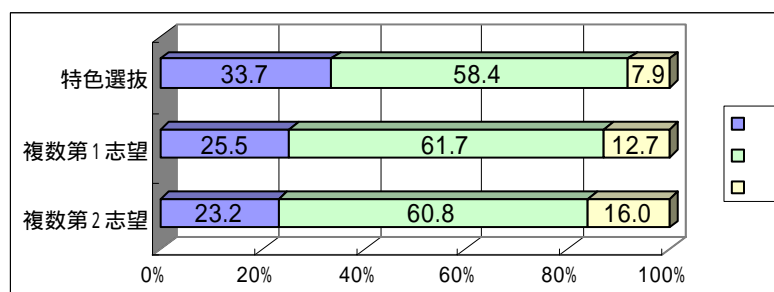
【参考】平成19年度
姫路・福崎学区



【参考】平成18年度
姫路・福崎学区

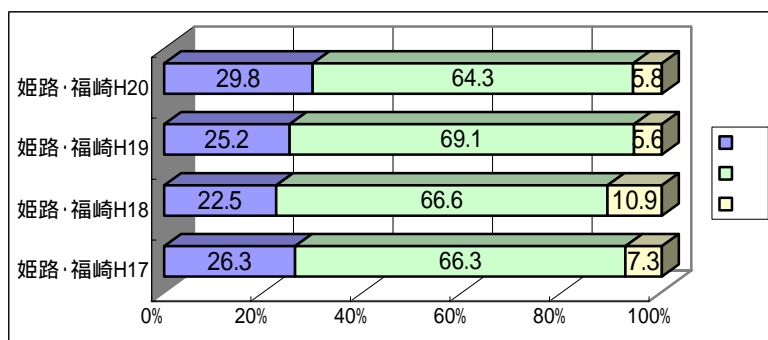


【参考】平成17年度
姫路・福崎学区



問 お子さんは、現在充実した高校生活を過ごしておられますか

【高校新入生保護者回答】

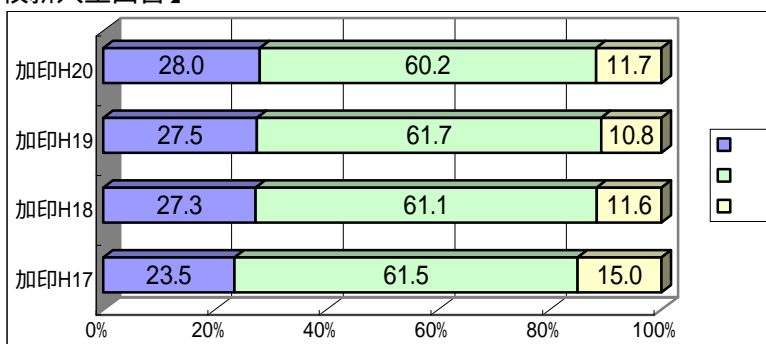


大変充実している
充実している
あまり充実していない

b 加印学区

問 現在、充実した高校生活を送っていますか

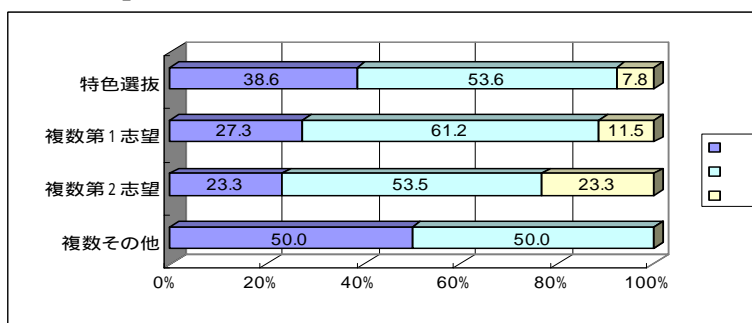
【高校新入生回答】



大変充実している
充実している
あまり充実していない

加印H20：加印学区平成20年度新入生を表す。なお、加印H17は、単独選抜最終年度である。

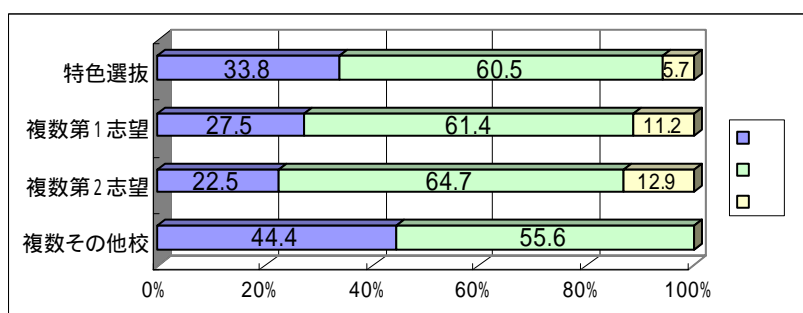
[入学区分別]



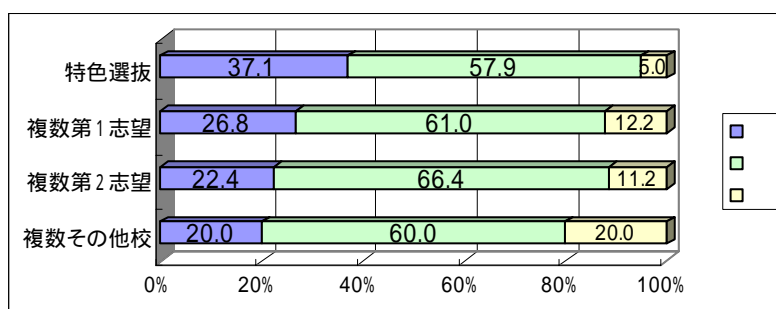
大変充実している
 充実している
 あまり充実していない

特色選抜：特色選抜で入学（回答者は 140名）
 複数第1志望：複数志願選抜第1志望で入学（回答者は1482名）
 複数第2志望：複数志願選抜第2志望で入学（回答者は 43名）
 複数その他校：複数志願選抜その他校で入学（回答者は 2名）

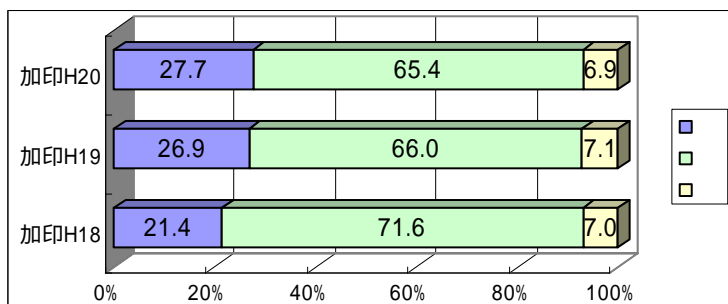
【参考】平成19年度
 加印学区



【参考】平成18年度
 加印学区



問 お子さんは、現在充実した高校生活を過ごしておられますか
 【高校新入生保護者回答】

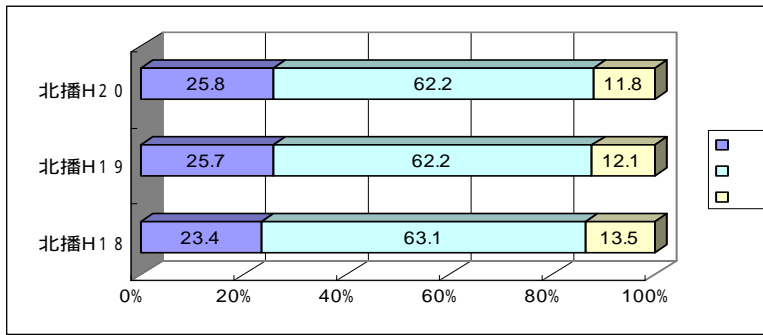


大変充実している
 充実している
 あまり充実していない

c 北播学区

問 現在、充実した高校生活を送っていますか

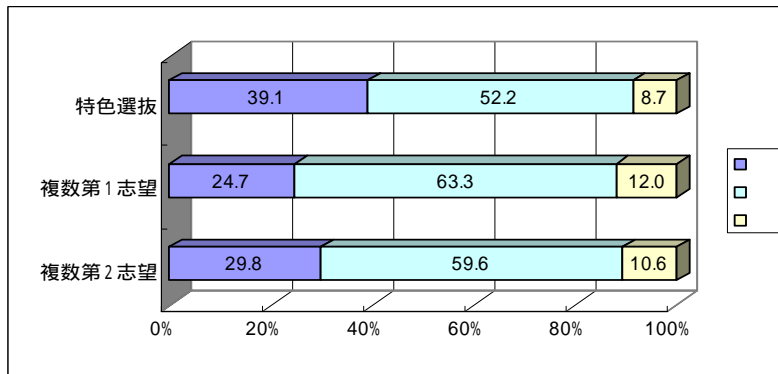
【高校新入生回答】



大変充実している
充実している
あまり充実していない

北播H20：北播学区平成20年度新入生を表す。なお、北播H18は、単独選抜最終年度である。

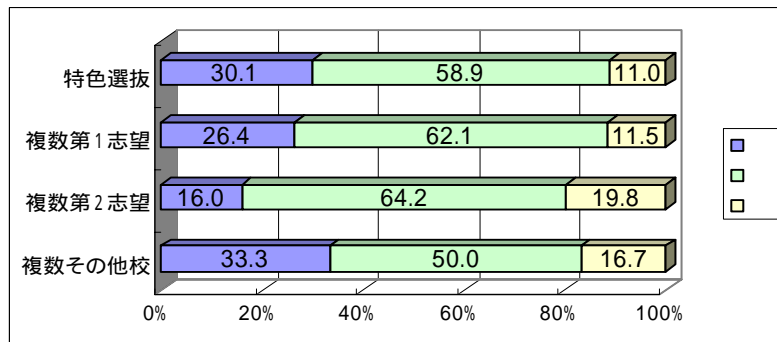
【入学区分別】



大変充実している
充実している
あまり充実していない

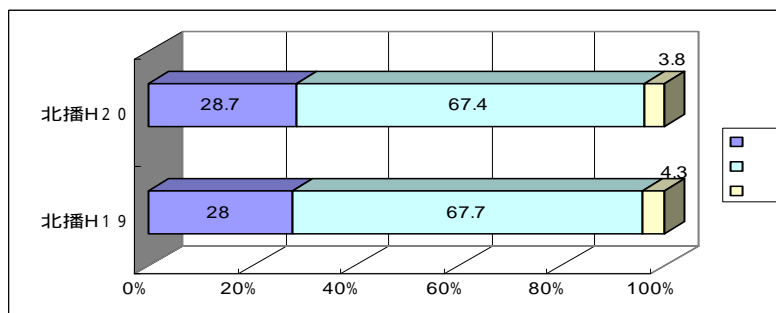
特色選抜：特色選抜で入学（回答者は 69名）
 複数第1志望：複数志願選抜第1志望で入学（回答者は1323名）
 複数第2志望：複数志願選抜第2志望で入学（回答者は 47名）
 複数その他校：複数志願選抜その他校で入学した生徒はなし

【参考】平成19年度
北播学区



問 お子さんは、現在充実した高校生活を過ごしておられますか

【高校新入生保護者回答】

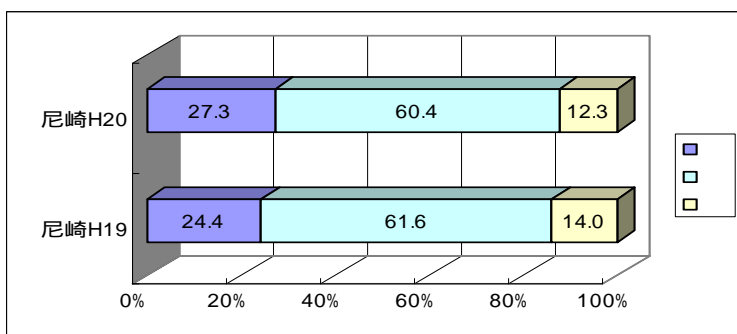


大変充実している
充実している
あまり充実していない

d 尼崎学区

問 現在、充実した高校生活を送っていますか

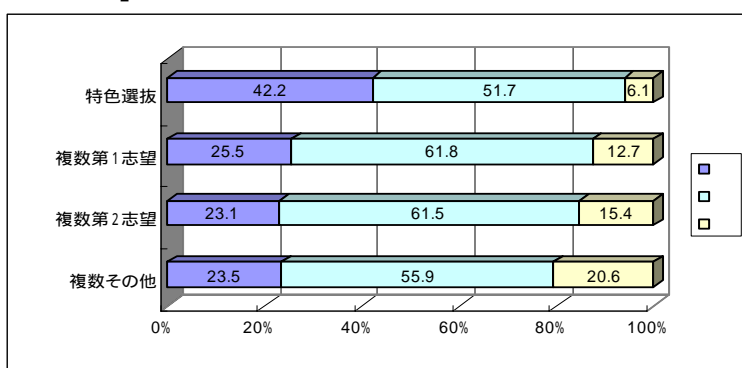
【高校新入生回答】



大変充実している
充実している
あまり充実していない

尼崎H20：尼崎学区平成20年度新入生を表す。なお、尼崎H19は、総合選抜最終年度である。

[入学区分別]

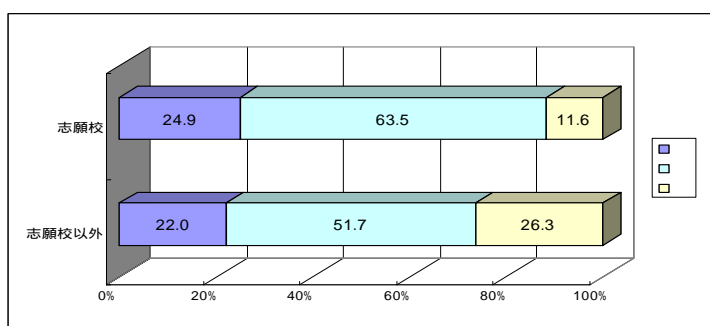


大変充実している
充実している
あまり充実していない

特色選抜：特色選抜で入学（回答者は 79名）
 複数第1志望：複数志願選抜第1志望で入学（回答者は1413名）
 複数第2志望：複数志願選抜第2志望で入学（回答者は 64名）
 複数その他校：複数志願選抜その他校で入学（回答者は 20名）

【参考】平成19年度 入学区分別充実度（総合選抜最終年度）

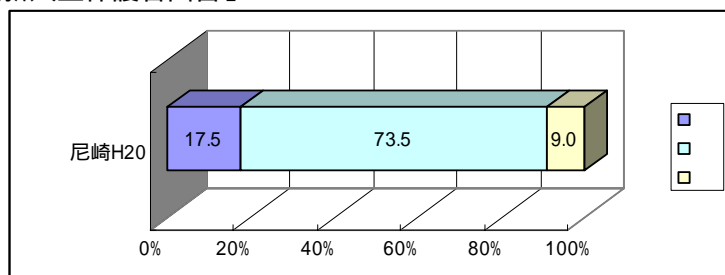
【高校新入生回答】



大変充実している
充実している
あまり充実していない

問 お子さんは、現在充実した高校生活を過ごしておられますか

【高校新入生保護者回答】

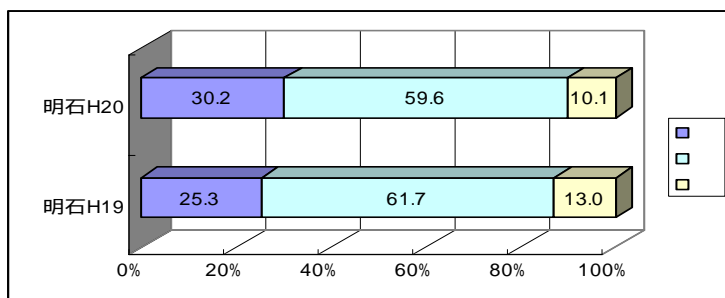


大変充実している
充実している
あまり充実していない

e 明石学区

問 現在、充実した高校生活を送っていますか

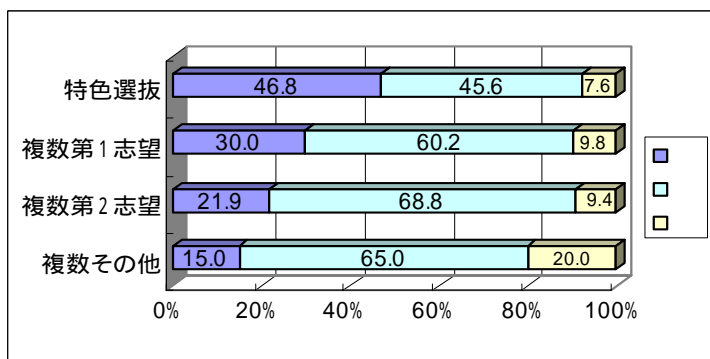
【高校新入生回答】



大変充実している
 充実している
 あまり充実していない

明石 H20：明石学区平成 20 年度新入生を表す。なお、明石H19は、総合選抜最終年度である。

[入学区分別]

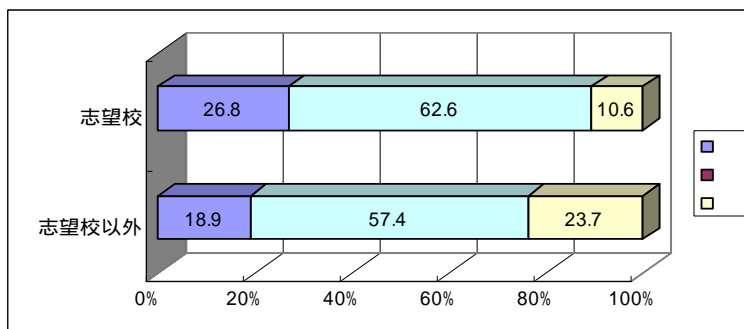


大変充実している
 充実している
 あまり充実していない

特色選抜：特色選抜で入学（回答者は 80名）
 複数第1志望：複数志願選抜第1志望で入学（回答者は1388名）
 複数第2志望：複数志願選抜第2志望で入学（回答者は 74名）
 複数その他校：複数志願選抜その他校で入学（回答者は 37名）

【参考】平成19年度 入学区分別充実度（総合選抜最終年度）

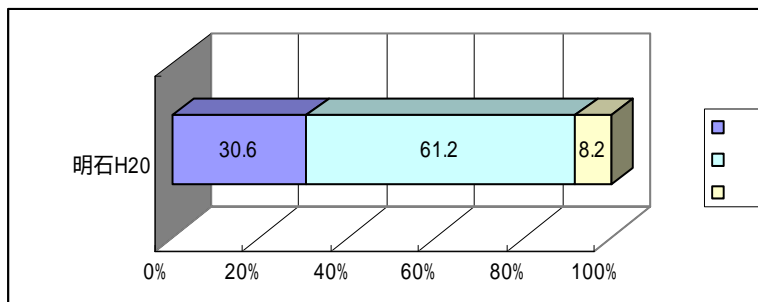
【高校新入生回答】



大変充実している
 充実している
 あまり充実していない

問 お子さんは、現在充実した高校生活を過ごしておられますか

【高校新入生保護者回答】



大変充実している
 充実している
 あまり充実していない

(2) 新入生の学校生活への取り組み状況について

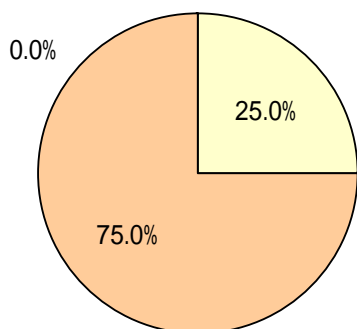
神戸第三学区、姫路・福崎学区、加印学区、北播学区においては、第2志望やその他校で入学した生徒の学校生活への取り組みを高等学校長に聞いたところ、多くの学校が第1志望で入学した生徒と「変わらない」という答えであった。一方、特色選抜で入学した生徒の学校生活への取り組みは、北播学区を除いては半数以上の学校で、複数志願選抜で入学した生徒と比較して「違いがある」「やや違いがある」と答えており、具体的な意見でも、多くの学校がHR活動や部活動、ボランティア活動などに積極的であると答えている。

尼崎学区においては、半数の学校で明石学区においては5校中2校で昨年度入学生（総合選抜最終年度）と比較して、学習や学校行事・課外活動などに「積極的」「やや積極的」に取り組んでいると答えている。また、第2志望やその他校で入学した生徒と、第1志望で入学した生徒との比較については、両学区ともすべての学校で「変わらない」と答えている。さらに、特色選抜で入学した生徒については、尼崎学区では5校中4校、明石学区では2校とも複数志願選抜で入学した生徒と比較して、「違いがある」「やや違いがある」と答えており、具体的な意見でも学習意欲や進路意識が高いと答えている。

a 神戸第三学区

問 第2志望やその他校で入学した生徒について、第1志望で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

【高等学校長回答】（8校中）



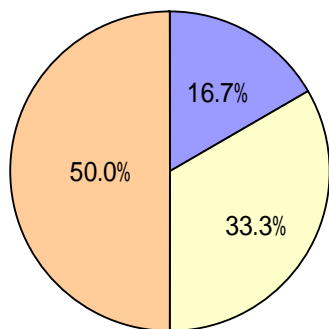
違いがある
やや違いがある
変わらない

【 についての具体的な意見】

- ・本校の特色を理解せずに入った生徒が積極的に取り組まない。
- ・なじむのに時間がかかる生徒が数人いる。

問 特色選抜で入学した生徒について、複数志願選抜で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

【高等学校長回答】（6校中）



違いがある
やや違いがある
変わらない

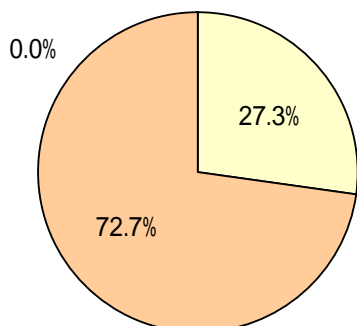
【 についての具体的な意見】

- ・意欲的で、リーダーシップを発揮している。
- ・クラスの活動が積極的で、ほとんどが部活動に入部している。
- ・学習面で少し消極的である。

b 姫路・福崎学区

問 第2志望やその他校で入学した生徒について、第1志望で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

【高等学校長回答】(11校中)



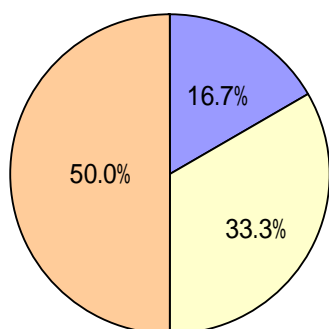
違いがある
やや違いがある
変わらない

【 についての具体的な意見】

- ・気持ちを切り替えて前向きに取り組もうとする生徒が多い。
- ・第2志望で入学した生徒には、不本意入学という意識はない。
- ・その他校志望の合格者は消極的である。

問 特色選抜で入学した生徒について、複数志願選抜で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

【高等学校長回答】(6校中)



違いがある
やや違いがある
変わらない

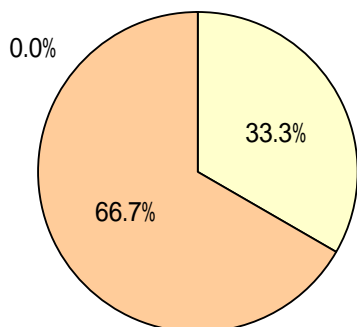
【 についての具体的な意見】

- ・部活動への入部率が高く、取り組みも積極的である。
- ・目的を持って入学してきているので、卒業後の進路に対する意識が高い。

c 加印学区

問 第2志望やその他校で入学した生徒について、第1志望で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

【高等学校長回答】(6校中)



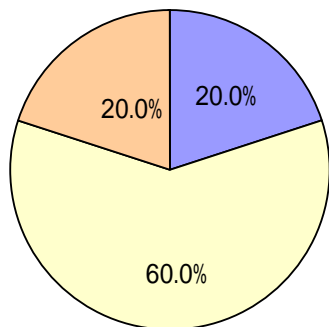
違いがある
やや違いがある
変わらない

【 についての具体的な意見】

- ・不本意で入学したという意識は薄れてきている。

問 特色選抜で入学した生徒について、複数志願選抜で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

【高等学校長回答】(5校中)



違いがある
やや違いがある
変わらない

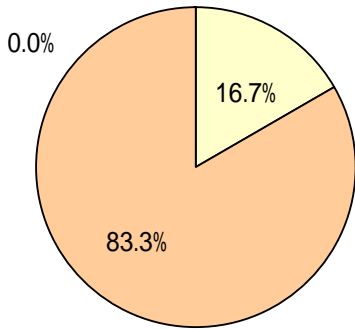
【 についての具体的な意見】

- ・部活動にも意欲的であり、HR活動にも積極的である。
- ・特色ある類型の内容をよく理解しないで入学している生徒がいる。

d 北播学区

問 第2志望やその他校で入学した生徒について、第1志望で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

【高等学校長回答】(6校中)



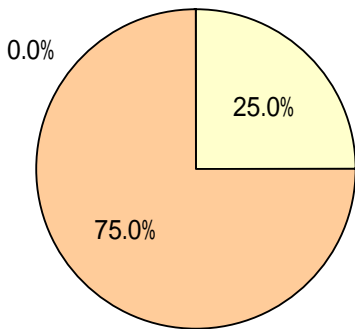
違いがある
やや違いがある
変わらない

【 についての具体的な意見】

- ・第2志望で入学した生徒の方が学力が高く、積極的に取り組む。

問 特色選抜で入学した生徒について、複数志願選抜で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

【高等学校長回答】(4校中)



違いがある
やや違いがある
変わらない

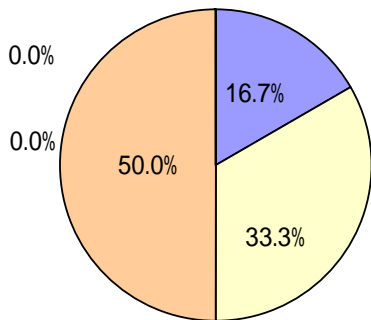
【 についての具体的な意見】

- ・何事にも前向きに取り組む、ボランティア活動にも積極的である。

e 尼崎学区

問 昨年度入学した1年生(総合選抜入学生)と比較して、今年度入学した1年生(複数志願選抜入学生)の学習に対する取り組みはどうか

【高等学校長回答】(6校中)



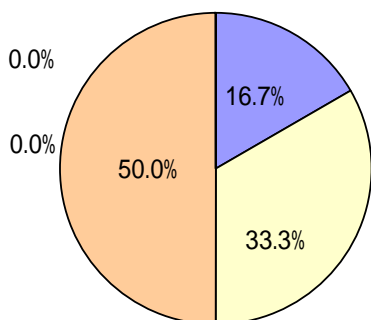
積極的
やや積極的
変わらない
やや消極的
消極的

【 についての具体的な意見】

- ・学習に意欲的である。
- ・進路学習に対して、今まで以上に真剣に取り組んでいる。

問 昨年度入学した1年生(総合選抜入学生)と比較して、今年度入学した1年生(複数志願選抜入学生)の学校行事や部活動等の課外活動などに対する取り組みはどうか

【高等学校長回答】(6校中)



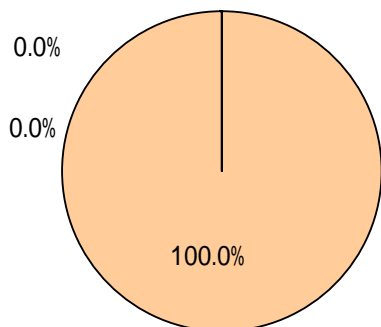
積極的
やや積極的
変わらない
やや消極的
消極的

【 についての具体的な意見】

- ・集会で話を聞く態度がよくなった。学校業にも積極的に取り組んでいる。
- ・部活動への入部が減った。

問 第2志望やその他校で入学した生徒について、第1志望で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

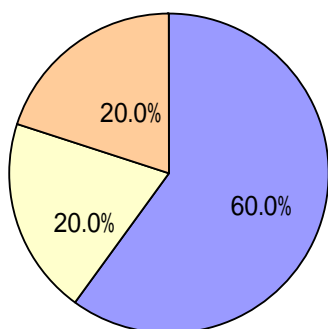
【高等学校長回答】（4校中）



違いがある
やや違いがある
変わらない

問 特色選抜で入学した生徒について、複数志願選抜で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

【高等学校長回答】（5校中）



違いがある
やや違いがある
変わらない

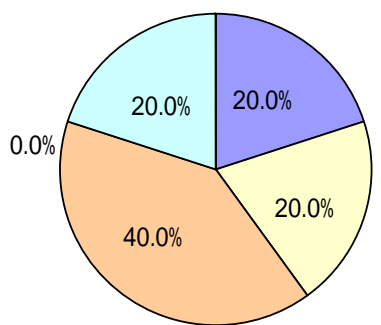
【 についての具体的な意見】

- ・すべての取組に積極的である。学習意欲も高い。
- ・学習と部活動を両立しようとする生徒が増えた。
- ・課題を欠かさず取り組もうとする姿勢が見受けられる。

f 明石学区

問 昨年度入学した1年生（総合選抜入学生）と比較して、今年度入学した1年生（複数志願選抜入学生）の学習に対する取り組みはどうか

【高等学校長回答】（5校中）



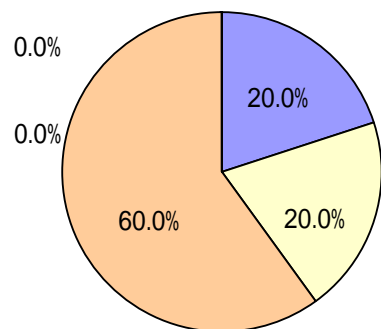
積極的
やや積極的
変わらない
やや消極的
消極的

【 についての具体的な意見】

- ・予習復習に取り組んでいる。
- ・学習への取組が積極的になった。
- ・基礎学力が乏しい生徒が少し増えた。

問 昨年度入学した1年生（総合選抜入学生）と比較して、今年度入学した1年生（複数志願選抜入学生）の学校行事や部活動等の課外活動などに対する取り組みはどうか

【高等学校長回答】（5校中）

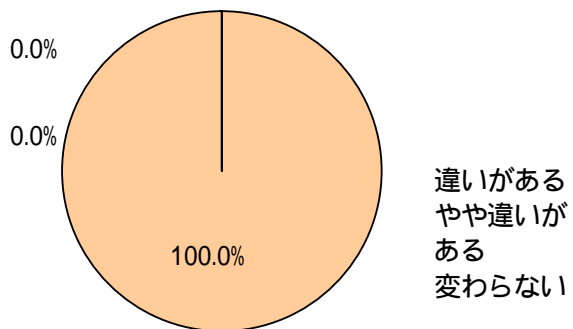


積極的
やや積極的
変わらない
やや消極的
消極的

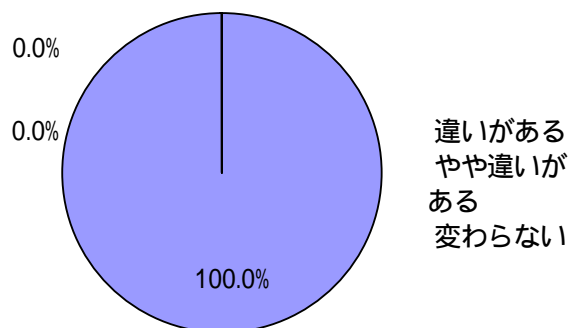
【 についての具体的な意見】

- ・集会時の話の効き方、質問の仕方が積極的になった。
- ・学校行事の取組が積極的になった。

問 第2志望やその他校で入学した生徒について、第1志望で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか
 【高等学校長回答】（4校中）



問 特色選抜で入学した生徒について、複数志願選抜で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか
 【高等学校長回答】（2校中）



【 についての具体的な意見】

- ・志が高く、進路意識が高い。
- ・意識が高く、何事にも積極的に取り組む。

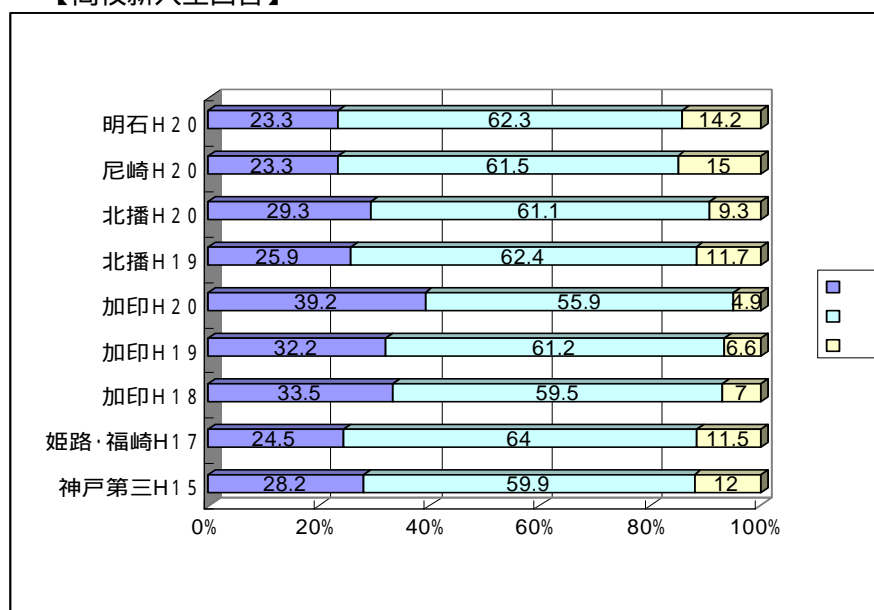
2 新しい選抜制度への理解度について
 (1) 複数志願選抜への理解度について

加印学区と北播学区においては、新入生・保護者いずれにおいても「理解していた」と答える割合が年々増えており、理解度が増している。

尼崎学区と明石学区においては、新入生の約85～86%、保護者の約91～92%が理解していたと答えている。これまで導入した学区の初年度と比較すると、新入生では2～3%低い、保護者ではほぼ同じ割合である。

中学校に、生徒や保護者に説明する上で説明が難しかったところを聞いたところ、いずれの学区においても「合否判定に関する説明」が最も高い割合になっている。

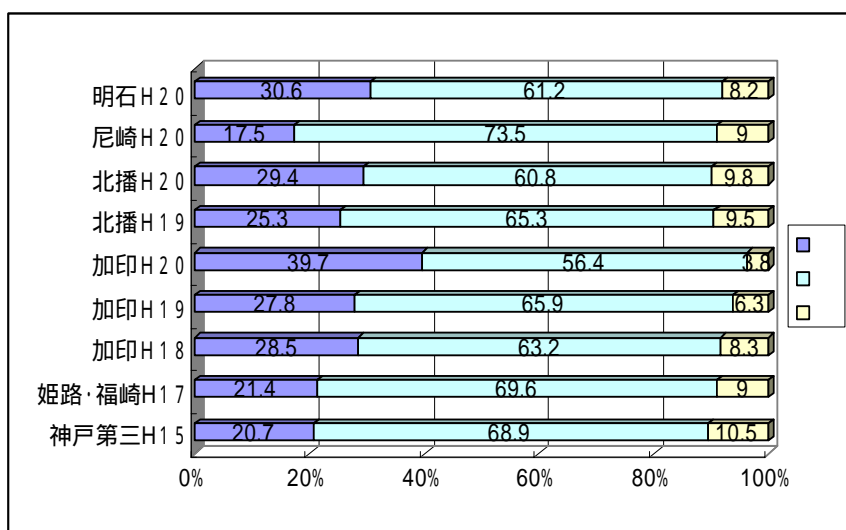
問 複数志願選抜の内容について理解していましたか
 【高校新入生回答】



よく理解していた
 だいたい理解していた
 あまり理解していなかった

神戸第三および姫路・福崎学区は平成20年度よりアンケートを実施せず。神戸第三H15及び姫路・福崎H17はそれぞれ複数志願選抜初年度であり、参考までに掲載した。

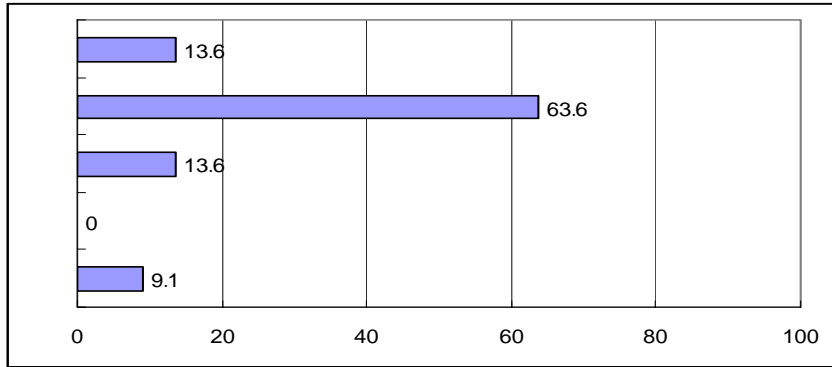
【高校新入生保護者回答】



よく理解していた
 だいたい理解していた
 あまり理解していなかった

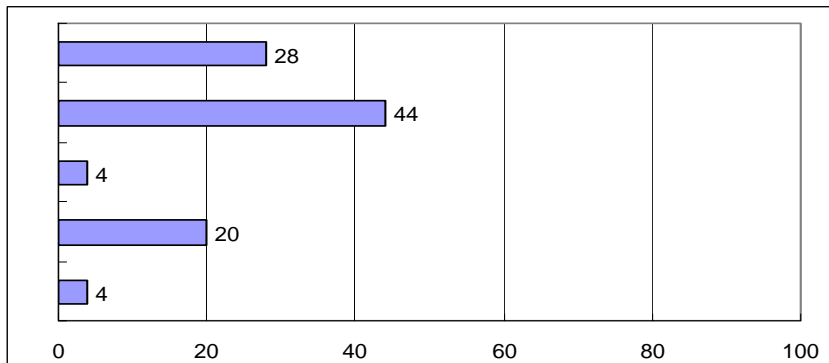
問 生徒や保護者に説明する上で、説明が最も難しかったのはどの部分ですか

【加印学区中学校回答】



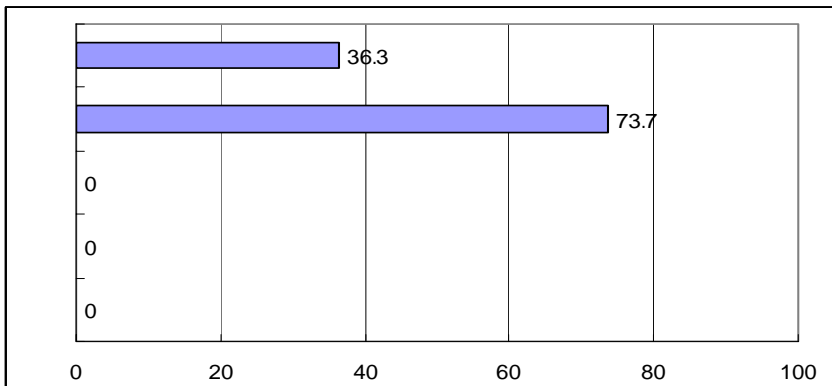
第1志望校、第2志望校、第1・第2志望以外の高等学校への具体的な志願方法
合否判定に関する説明
志願変更に関する説明
第1志望加算点に関する説明
その他

【北播学区中学校回答】



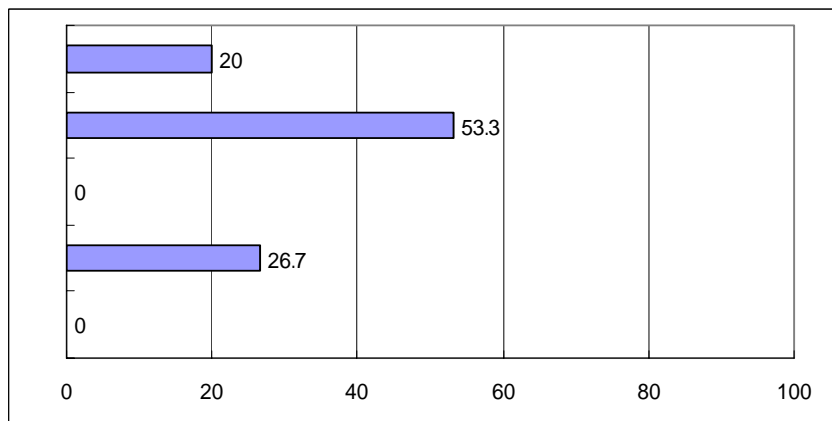
第1志望校、第2志望校、第1・第2志望以外の高等学校への具体的な志願方法
合否判定に関する説明
志願変更に関する説明
第1志望加算点に関する説明
その他

【尼崎学区中学校回答】



第1志望校、第2志望校、第1・第2志望以外の高等学校への具体的な志願方法
合否判定に関する説明
志願変更に関する説明
第1志望加算点に関する説明
その他

【明石学区中学校回答】

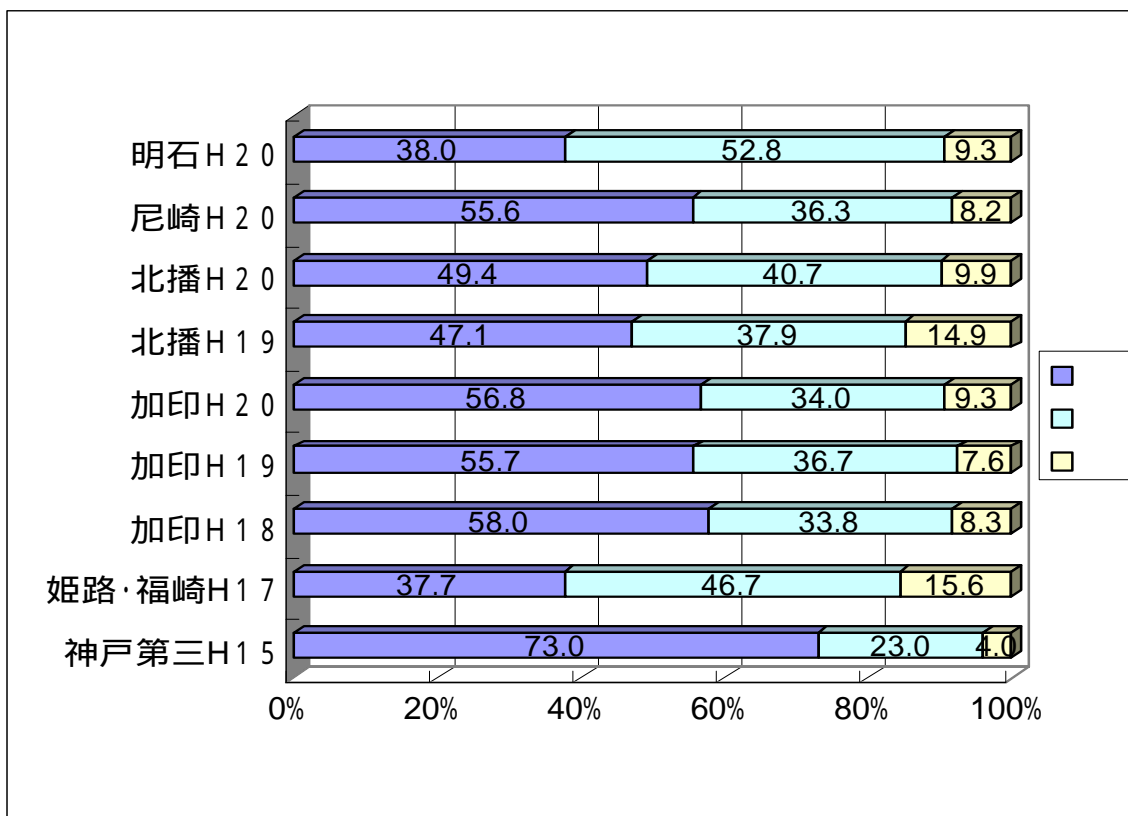


第1志望校、第2志望校、第1・第2志望以外の高等学校への具体的な志願方法
合否判定に関する説明
志願変更に関する説明
第1志望加算点に関する説明
その他

(2) 特色選抜への理解度について

加印学区と北播学区においては、特色選抜による入学者の約90%が特色選抜の内容について理解していると答えている。尼崎学区と明石学区についても約91～92%の新入生が「理解している」と答えており、高い割合となっている。

問 特色選抜の内容について理解していましたか（特色選抜による入学者）
【高校新入生回答】



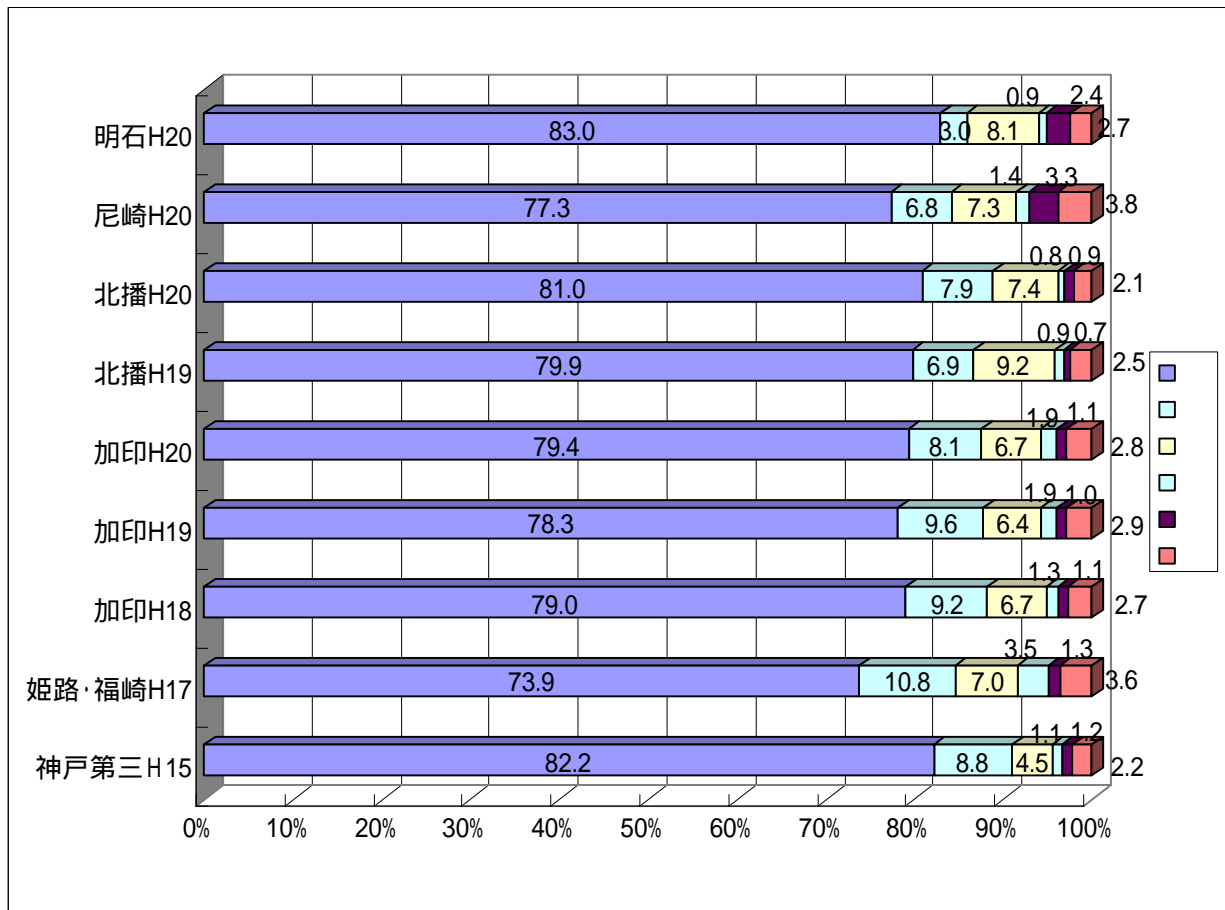
よく理解していた だいたい理解していた あまり理解していなかった

神戸第三および姫路・福崎学区は平成20年度よりアンケートを実施せず。神戸第三H15及び姫路・福崎H17はそれぞれ複数志願選抜初年度であり、参考までに掲載した。

3 志望校の決め手について
 (1) 志望校の決定について

加印学区では約79%、北播学区では約80%、尼崎学区では約77%、明石学区では約83%の新生が志望校を自分自身で決定しており、「学びたいことが学べる」複数志願選抜の長所が生かされている。

問 志望校はどのようにして決めましたか
 【高校新生回答】



自分自身
塾の先生のおすすめ
 中学校の先生のおすすめ
知人・先輩・友人のおすすめ
 家族・親戚のおすすめ
その他

神戸第三および姫路・福崎学区は平成20年度よりアンケートを実施せず。神戸第三H15及び姫路・福崎H17はそれぞれ複数志願選抜初年度であり、参考までに掲載した。

(2) 複数志願選抜の第1志望校の決め手について

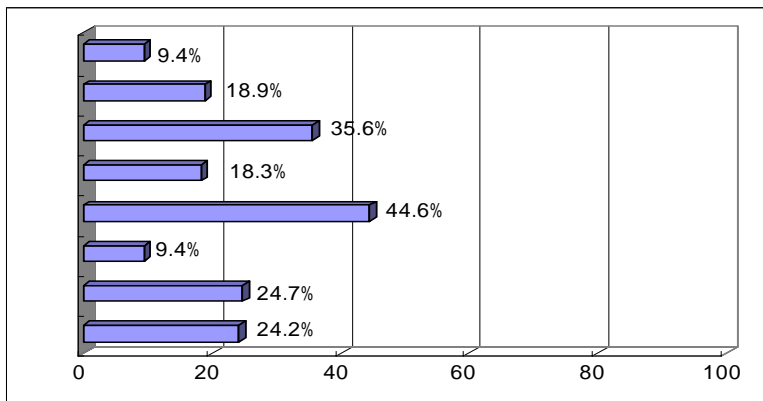
いずれの学区においても、第1志望校の決め手として「校風・学校の雰囲気」を選ぶ割合が高い。加印学区と北播学区では「大学等への進学や就職の状況」を、尼崎学区と明石学区では「通学時間」を決め手にする新入生も多い。

それぞれの学区において、学校別に比較すると、「校風・学校の雰囲気」が決め手とされている学校や、「大学等への進学や就職の状況」が決め手とされている学校、他校と比較して、「特色ある学習内容」「学校行事・特別活動」「部活動」「通学時間」を決め手とする割合が多い学校など、志望校選択の決め手に学校ごとの特徴が見られ、いわゆる「受験学力」のみによらない学校選択が進んでいる。

a 姫路・福崎学区

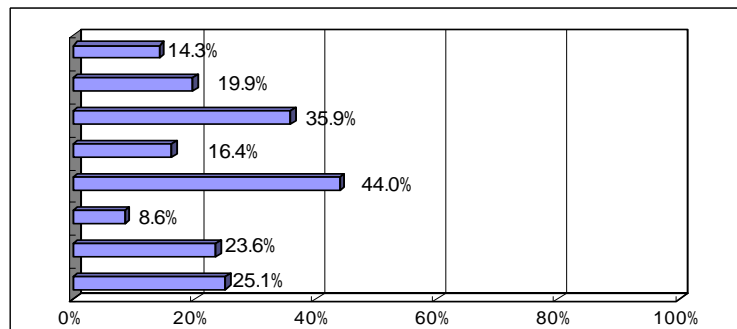
問 第1志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】

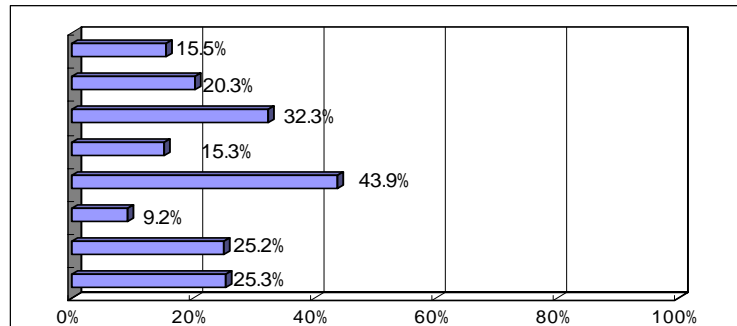


特色ある学習内容
 学校行事・特別活動
 大学等への進学や就職の状況
 部活動
 校風・学校の雰囲気
 兄弟・親戚が通学している
 (していた)
 通学時間
 その他

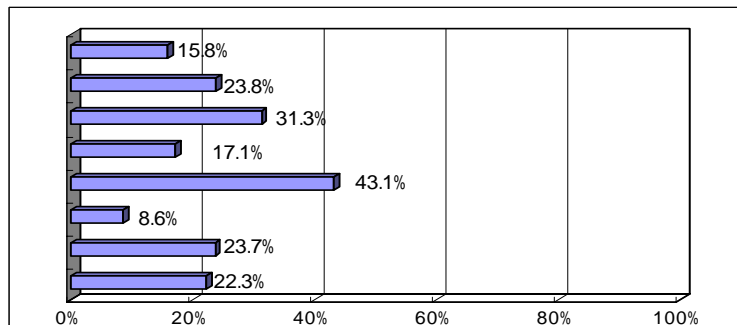
【参考】平成19年度
 姫路・福崎学区



平成18年度
 姫路・福崎学区



平成17年度
 姫路・福崎学区

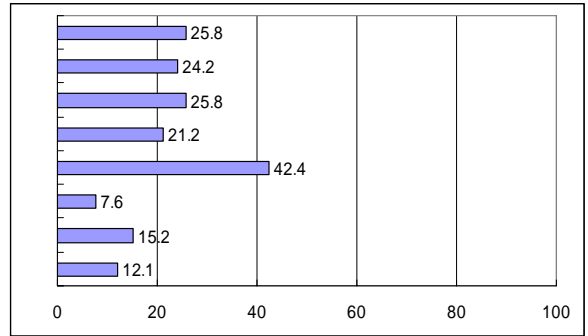


[姫路・福崎学区の学校別での状況]

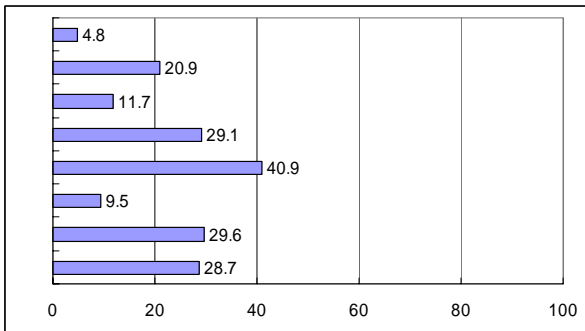
【学区全体】

特色ある学習内容	9.4%
学校行事・特別活動	18.9%
大学等への進学や就職の状況	35.6%
部活動	18.3%
校風・学校の雰囲気	44.6%
兄弟・親戚が通学	9.4%
通学時間	24.7%
その他	24.2%

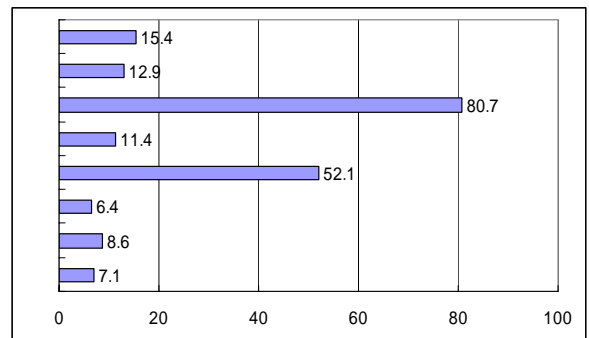
《 A 校 》



《 B 校 》



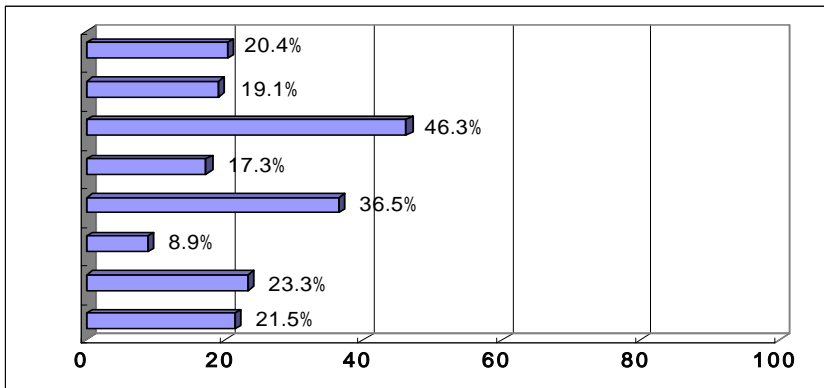
《 C 校 》



b 加印学区

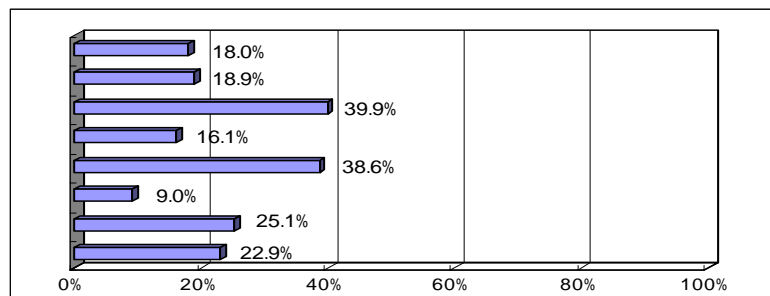
問 第1志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】

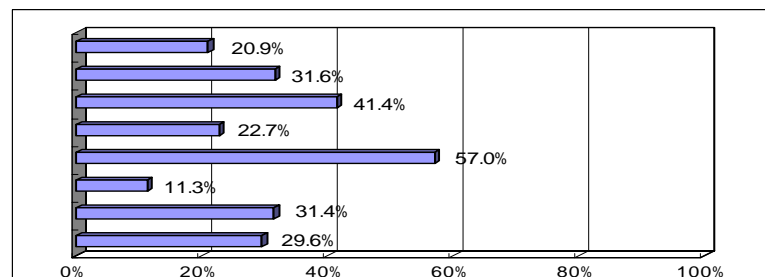


特色ある学習内容
 学校行事・特別活動
 大学等への進学や就職の状況
 部活動
 校風・学校の雰囲気
 兄弟・親戚が通学している
 (していた)
 通学時間
 その他

平成19年度
加印学区



平成18年度
加印学区

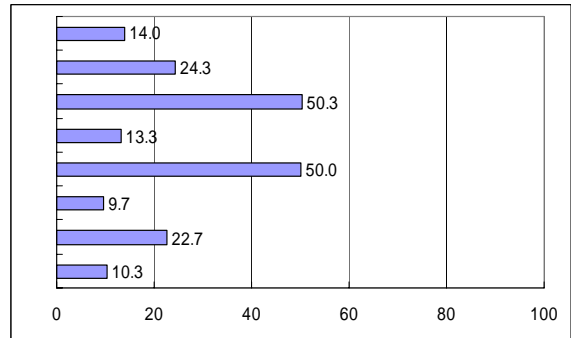


[加印学区の学校別での状況]

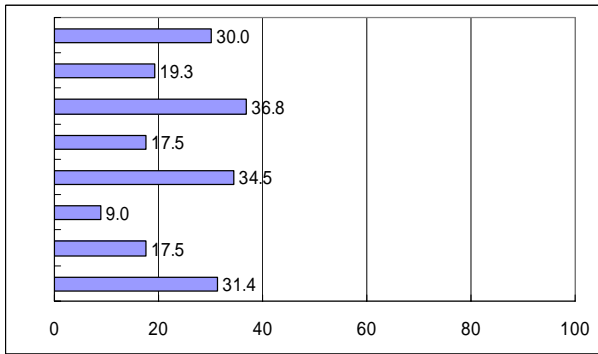
【学区全体】

特色ある学習内容	20.4%
学校行事・特別活動	19.1%
大学等への進学や就職の状況	46.3%
部活動	17.3%
校風・学校の雰囲気	36.5%
兄弟・親戚が通学	8.9%
通学時間	23.3%
その他	21.5%

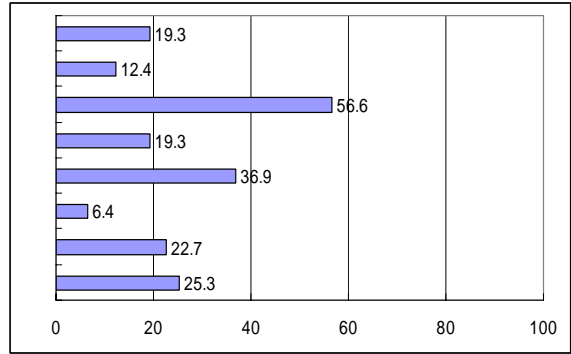
《D校》



《E校》



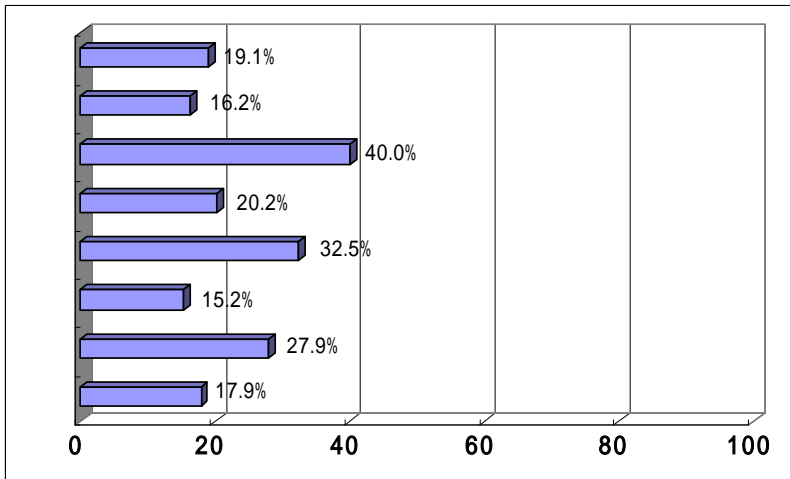
《F校》



c 北播学区

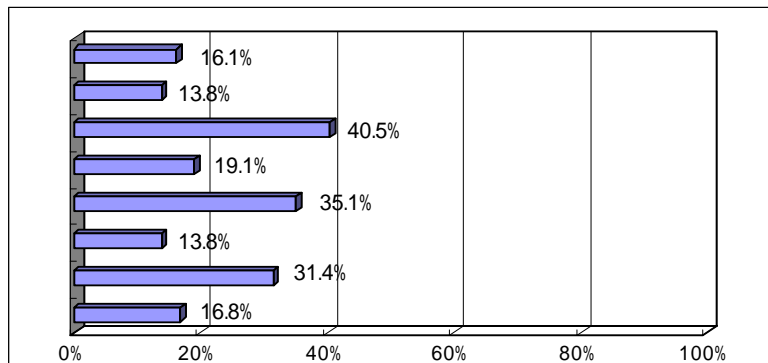
問 第1志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】



- 特色ある学習内容
- 学校行事・特別活動
- 大学等への進学や就職の状況
- 部活動
- 校風・学校の雰囲気
- 兄弟・親戚が通学している
(していた)
- 通学時間
- その他

平成19年度
北播学区

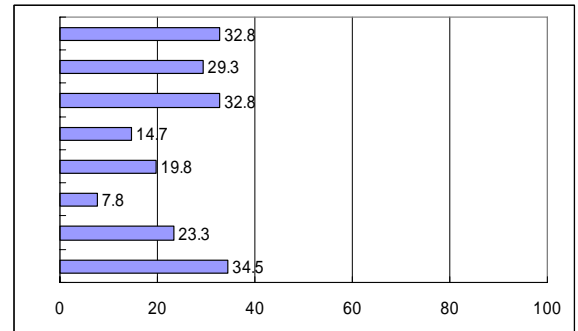


[北播学区の学校別での状況]

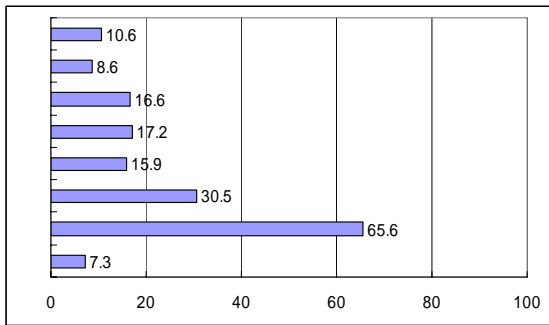
【学区全体】

特色ある学習内容	19.1%
学校行事・特別活動	16.2%
大学等への進学や就職の状況	40.0%
部活動	20.2%
校風・学校の雰囲気	32.5%
兄弟・親戚が通学	15.2%
通学時間	27.9%
その他	17.9%

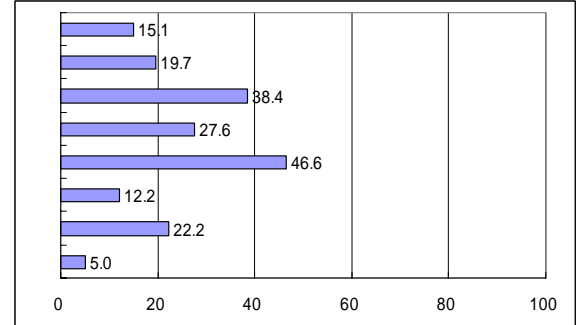
《 G校 》



《 H校 》



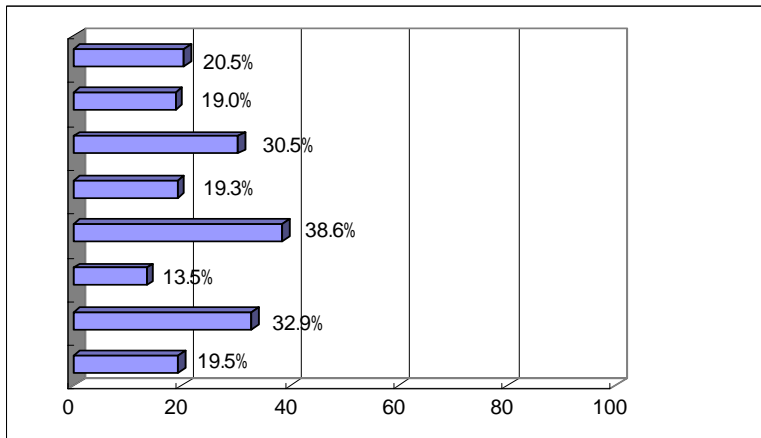
《 I校 》



d 尼崎学区

問 第1志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】



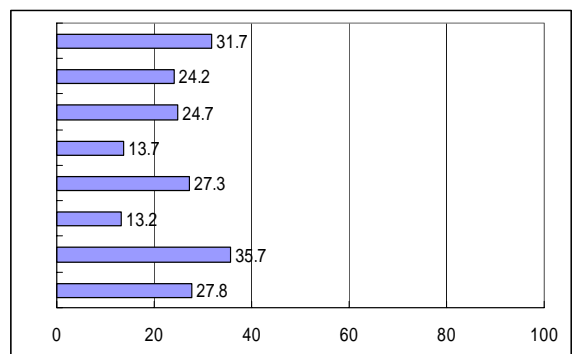
特色ある学習内容
 学校行事・特別活動
 大学等への進学や就職の状況
 部活動
 校風・学校の雰囲気
 兄弟・親戚が通学している
 (していた)
 通学時間
 その他

[尼崎学区の学校別での状況]

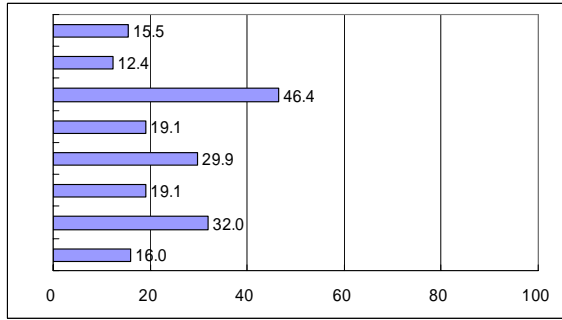
【学区全体】

特色ある学習内容	20.5%
学校行事・特別活動	19.0%
大学等への進学や就職の状況	30.5%
部活動	19.3%
校風・学校の雰囲気	38.6%
兄弟・親戚が通学	13.5%
通学時間	32.9%
その他	19.5%

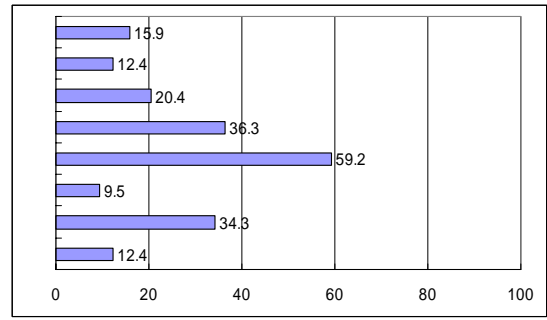
《 J校 》



《K校》



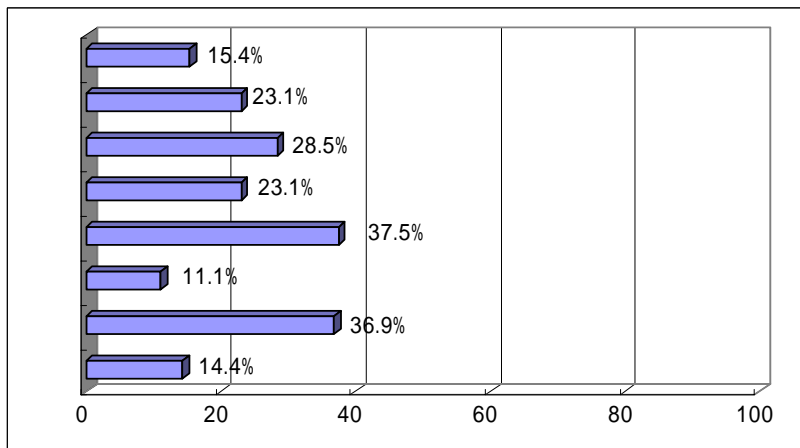
《L校》



e 明石学区

問 第1志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】



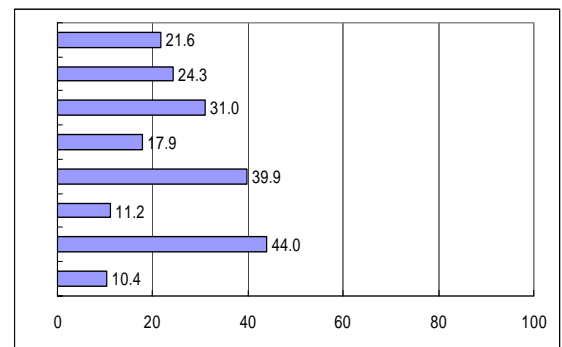
- 特色ある学習内容
- 学校行事・特別活動
- 大学等への進学や就職の状況
- 部活動
- 校風・学校の雰囲気
- 兄弟・親戚が通学している
(していた)
- 通学時間
- その他

[明石学区の学校別での状況]

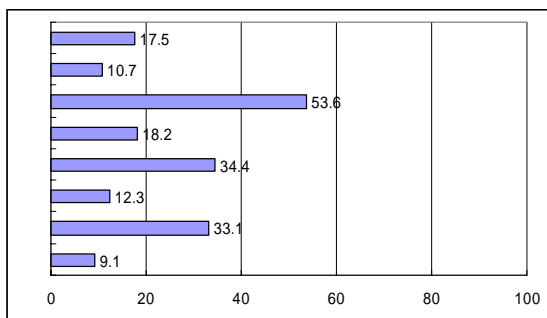
【学区全体】

特色ある学習内容	15.4%
学校行事・特別活動	23.1%
大学等への進学や就職の状況	28.5%
部活動	23.1%
校風・学校の雰囲気	37.5%
兄弟・親戚が通学	11.1%
通学時間	36.9%
その他	14.4%

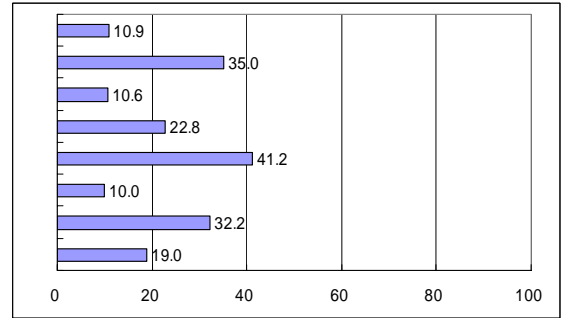
《M校》



《N校》



《O校》



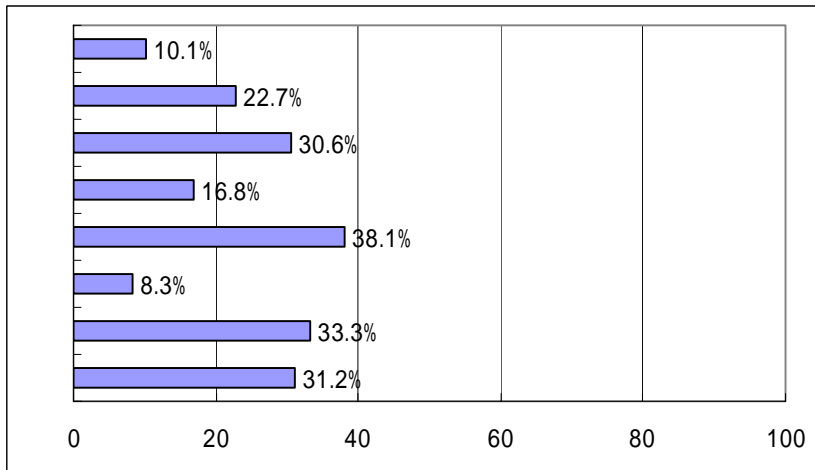
(3) 複数志願選抜の第2志望校の決め手について

第2志望校の決め手としては、姫路・福崎学区では「校風・学校の雰囲気」が、加印学区では「大学等への進学や就職の状況」が、北播学区と尼崎学区では「通学時間」が、明石学区では「学校行事・特別活動」と回答した者が一番多く、学区により傾向が異なるが、多様な決め手で学校が選択されている。

a 姫路・福崎学区

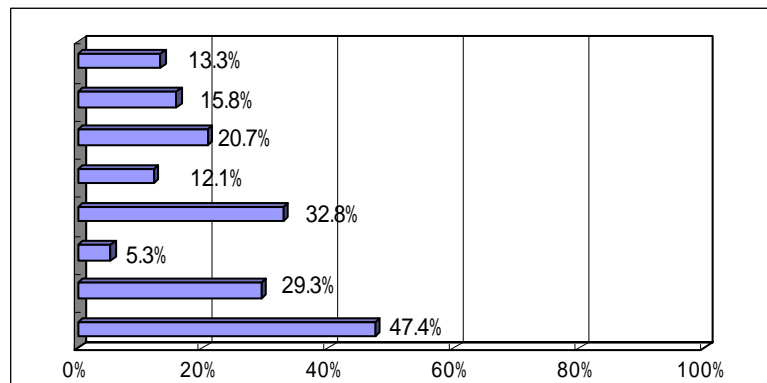
問 第2志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】



特色ある学習内容
 学校行事・特別活動
 大学等への進学や就職の状況
 部活動
 校風・学校の雰囲気
 兄弟・親戚が通学している
 (していた)
 通学時間
 その他

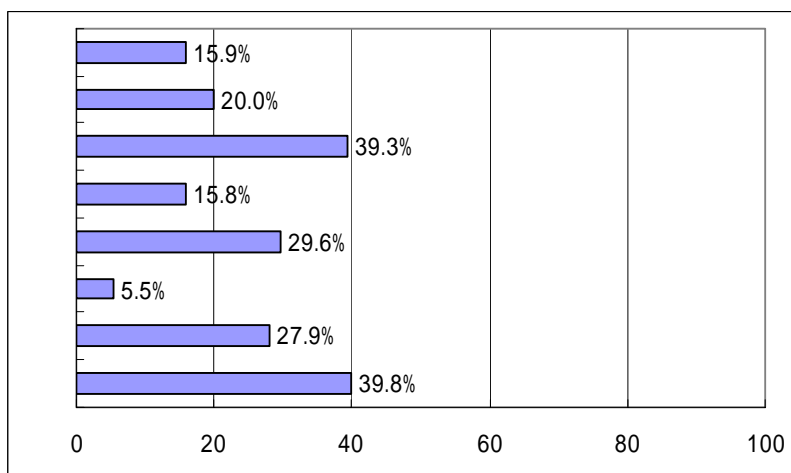
【参考】平成19年度
 姫路・福崎学区



b 加印学区

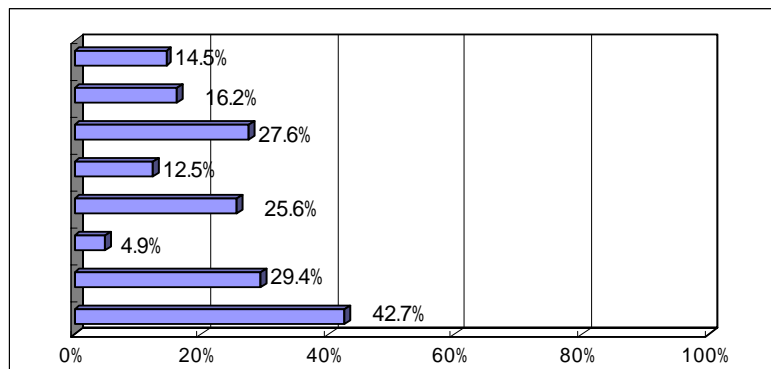
問 第2志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】



特色ある学習内容
 学校行事・特別活動
 大学等への進学や就職の状況
 部活動
 校風・学校の雰囲気
 兄弟・親戚が通学している
 (していた)
 通学時間
 その他

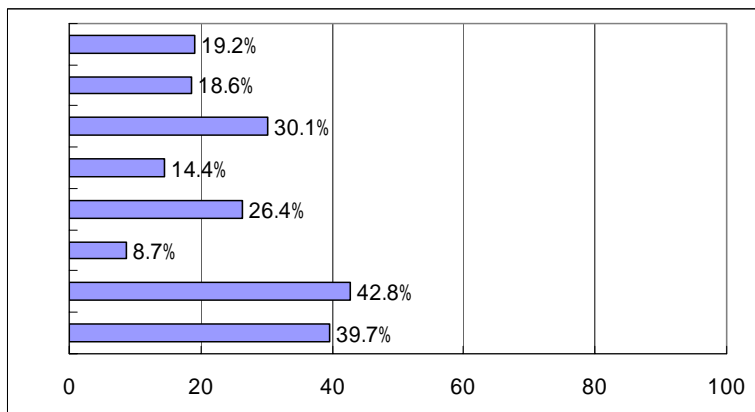
【参考】平成19年度
加印学区



c 北播学区

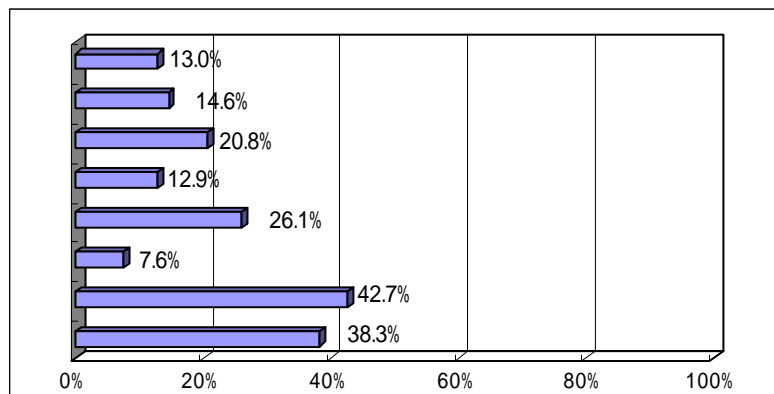
問 第2志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】



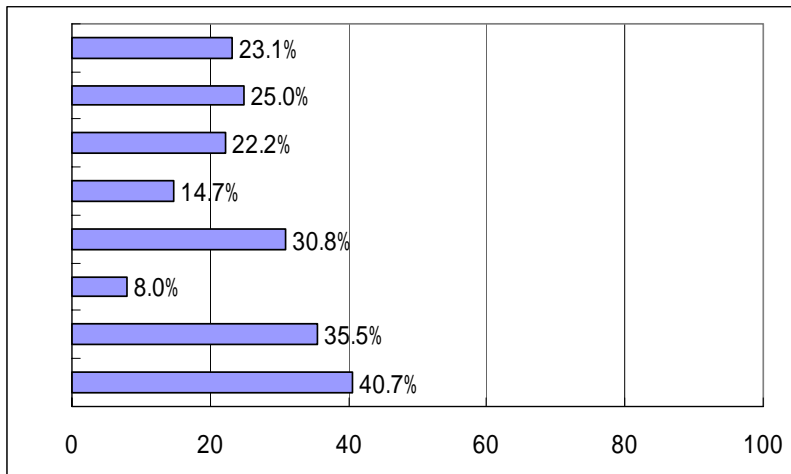
- 特色ある学習内容
- 学校行事・特別活動
- 大学等への進学や就職の状況
- 部活動
- 校風・学校の雰囲気
- 兄弟・親戚が通学している(していた)
- 通学時間
- その他

【参考】平成19年度
北播学区



d 尼崎学区

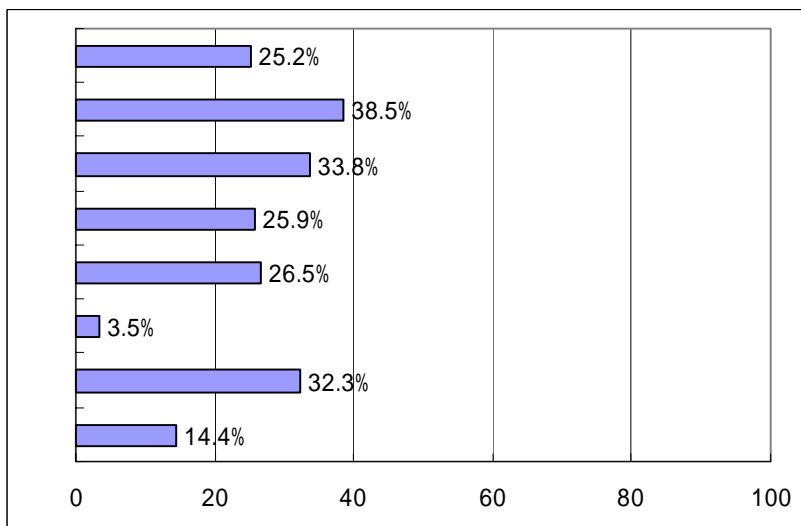
問 第2志望校の決め手となった理由は何ですか
【高校新入生回答】



特色ある学習内容
学校行事・特別活動
大学等への進学や就職の状況
部活動
校風・学校の雰囲気
兄弟・親戚が通学している
(していた)
通学時間
その他

e 明石学区

問 第2志望校の決め手となった理由は何ですか
【高校新入生回答】



特色ある学習内容
学校行事・特別活動
大学等への進学や就職の状況
部活動
校風・学校の雰囲気
兄弟・親戚が通学している
(していた)
通学時間
その他

(4) 複数志願選抜の第1・2志望校以外の学校を希望する理由について

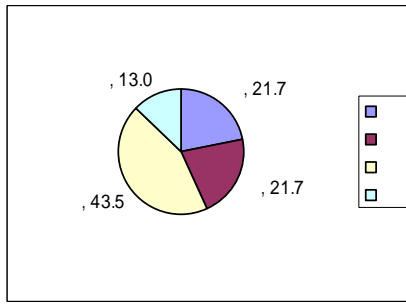
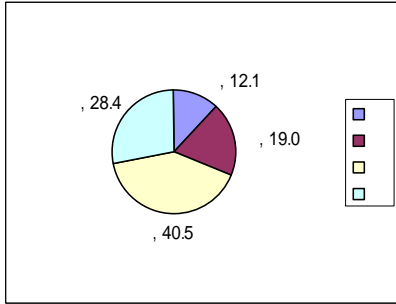
いずれの学区においても、新入生では「どこかの公立高校に合格できればよいと思った」という理由とする者が多い。一方、保護者では新入生に比べて「経済的な事情があった」を理由にする者が多く、尼崎学区と明石学区では特にその割合が高い。

a 姫路・福崎学区

問 第1・第2志望以外の高等学校を希望した最も大きな理由は何ですか

【高校新入生回答】

【高校新入生保護者回答】



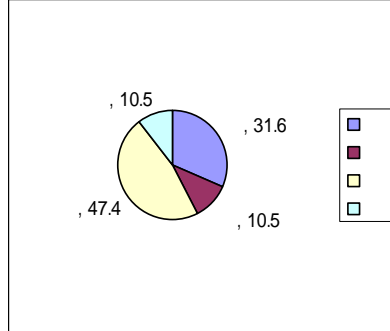
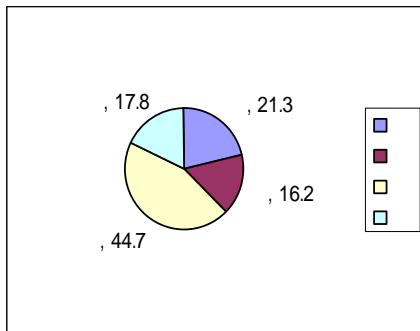
経済的な事情があった
私学にはない魅力が公立高校にあると思った
どこかの公立高校に合格できればよいと思った
特に理由はなかった

c 加印学区

問 第1・第2志望以外の高等学校を希望した最も大きな理由は何ですか

【高校新入生回答】

【高校新入生保護者回答】



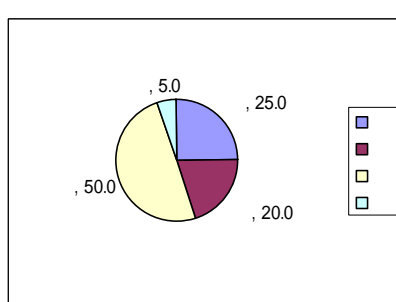
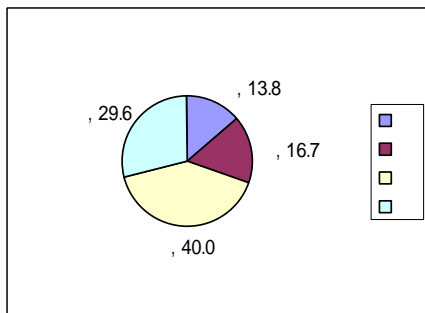
経済的な事情があった
私学にはない魅力が公立高校にあると思った
どこかの公立高校に合格できればよいと思った
特に理由はなかった

d 北播学区

問 第1・第2志望以外の高等学校を希望した最も大きな理由は何ですか

【高校新入生回答】

【高校新入生保護者回答】



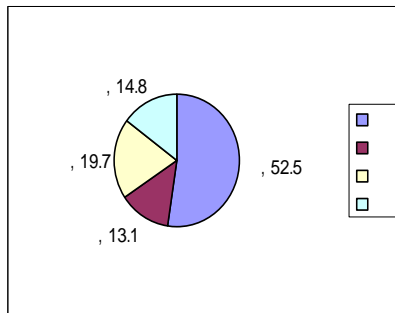
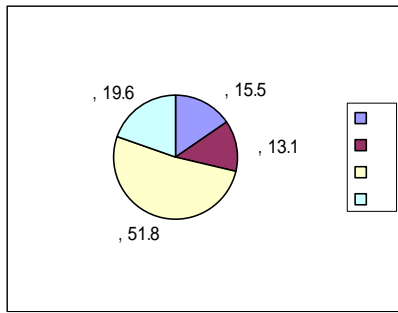
経済的な事情があった
私学にはない魅力が公立高校にあると思った
どこかの公立高校に合格できればよいと思った
特に理由はなかった

e 尼崎学区

問 第1・第2志望以外の高等学校を希望した最も大きな理由は何ですか

【高校新入生回答】

【高校新入生保護者回答】



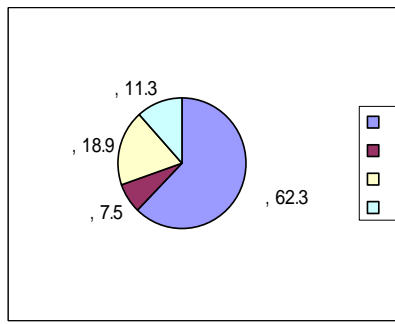
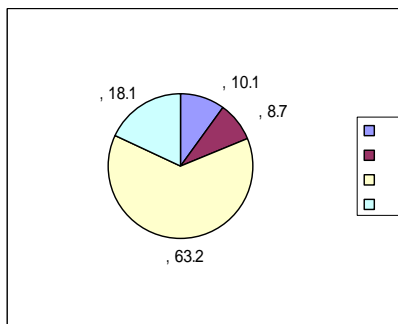
経済的な事情があった
私学にはない魅力が公立高校にあると思った
どこかの公立高校に合格できればよいと思った
特に理由はなかった

f 明石学区

問 第1・第2志望以外の高等学校を希望した最も大きな理由は何ですか

【高校新入生回答】

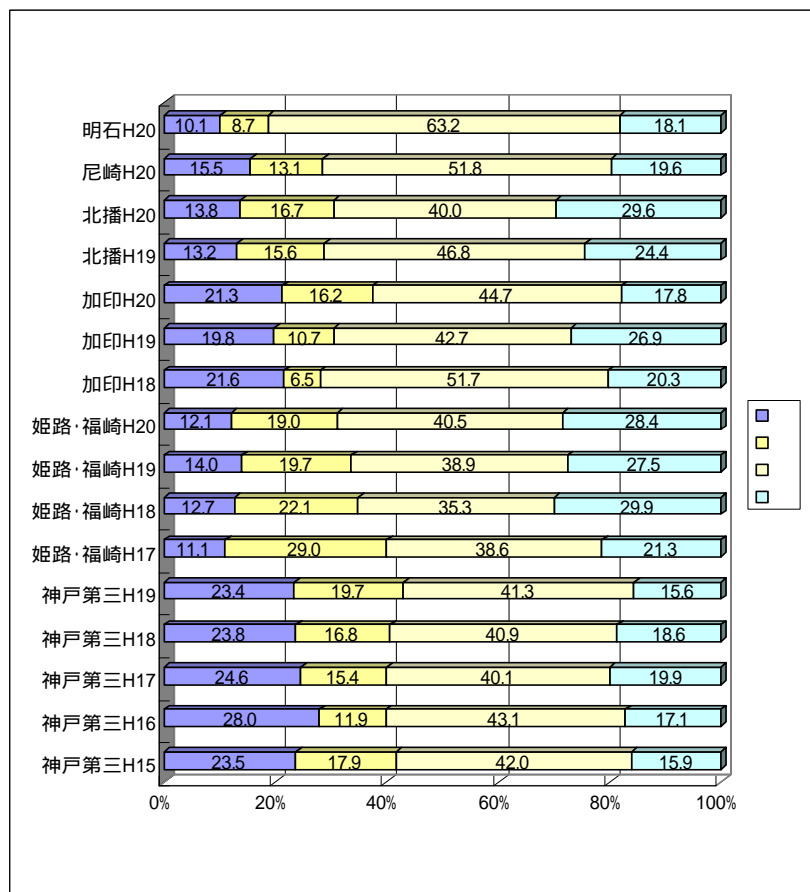
【高校新入生保護者回答】



経済的な事情があった
私学にはない魅力が公立高校にあると思った
どこかの公立高校に合格できればよいと思った
特に理由はなかった

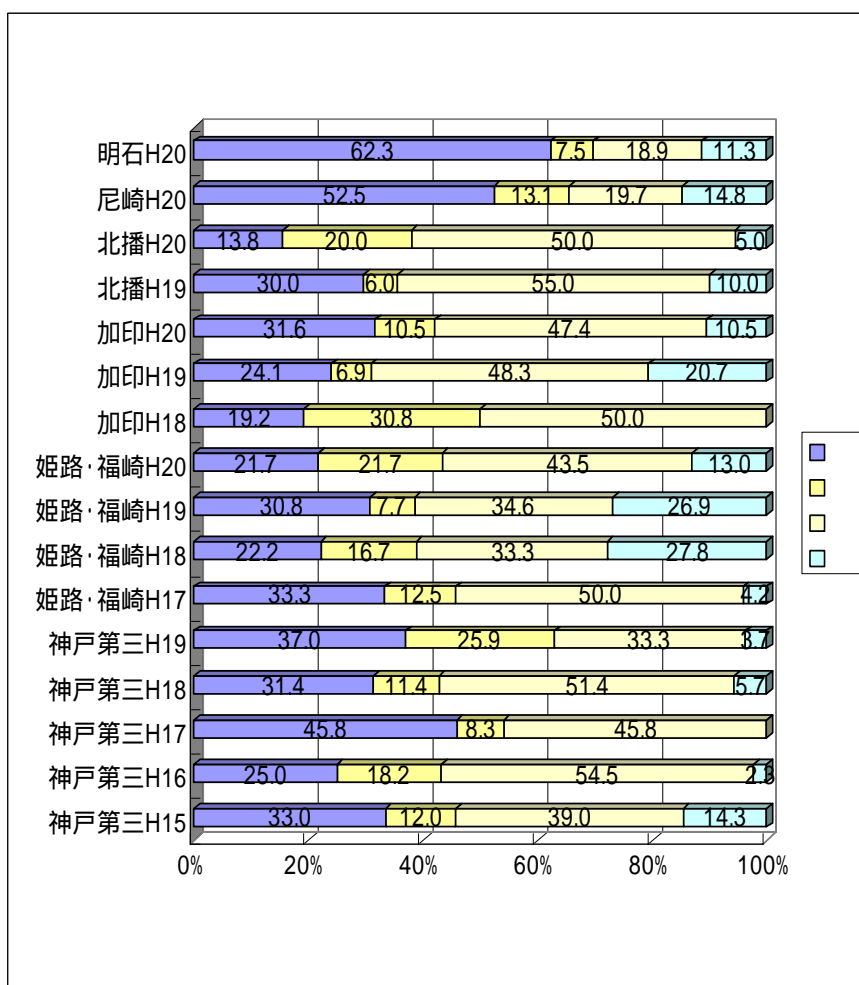
【高校新入生回答の推移】

経済的な事情があった
私学にはない魅力が公立高校にあると思った
どこかの公立高校に合格できればよいと思った
特に理由はなかった



【新入生保護者回答の推移】

経済的な事情があった
私学にはない魅力が公立高校に
あると思った
どこかの公立高校に合格できれ
ばよいと思った
特に理由はなかった

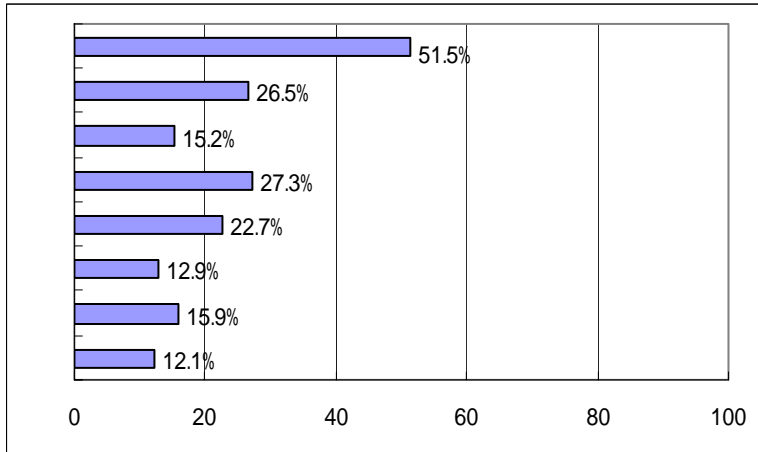


(5) 特色選抜の決め手について

いずれの学区においても、志望校の決め手は「特色ある学習内容」の割合が最も高い。

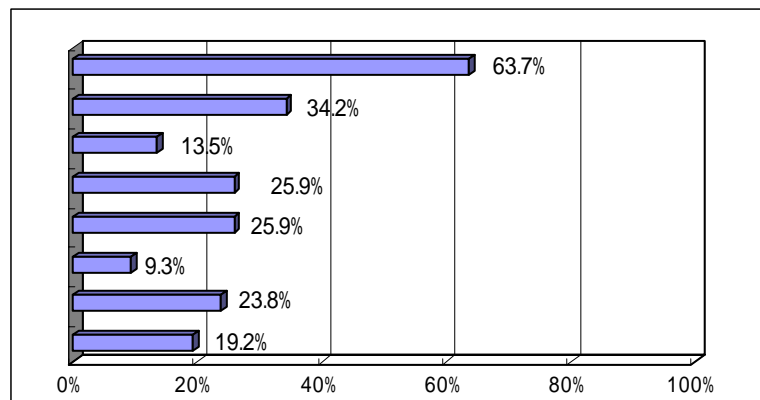
a 姫路・福崎学区

問 特色選抜において志望校の決め手となった理由は何ですか
【高校新入生回答】



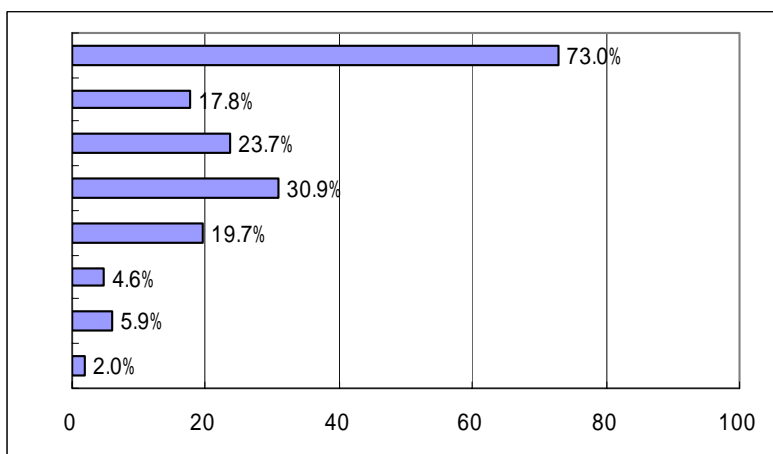
特色ある学習内容
学校行事・特別活動
大学等への進学や就職の状況
部活動
校風・学校の雰囲気
兄弟・親戚が通学している
(していた)
通学時間
その他

【参考】平成19年度
姫路・福崎学区



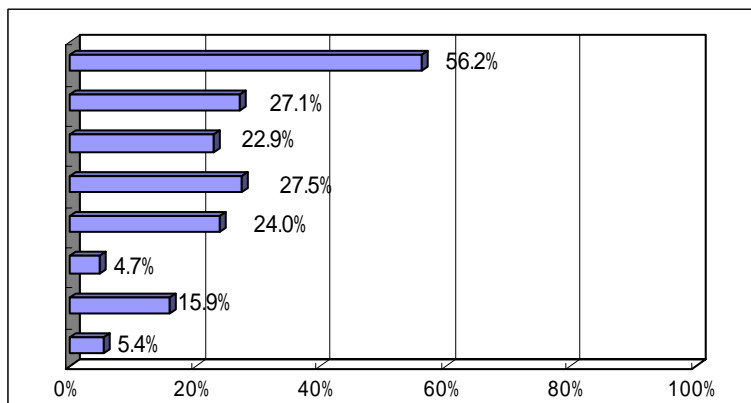
b 加印学区

問 特色選抜において志望校の決め手となった理由は何ですか
【高校新入生回答】



特色ある学習内容
学校行事・特別活動
大学等への進学や就職の状況
部活動
校風・学校の雰囲気
兄弟・親戚が通学している
(していた)
通学時間
その他

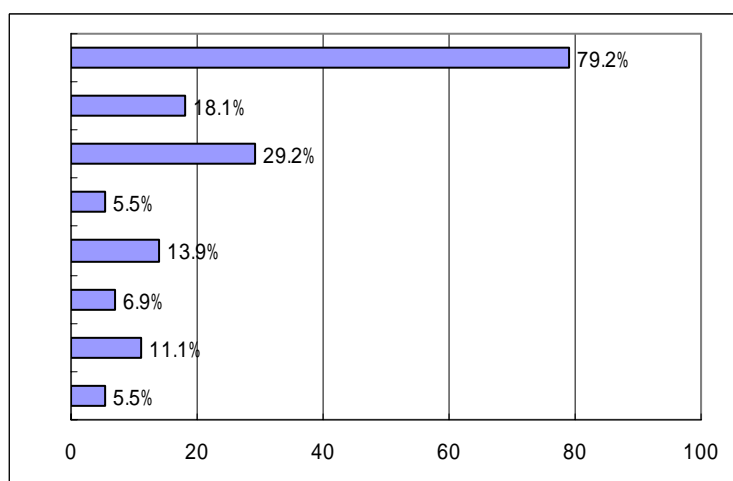
【参考】平成19年度
加印学区



c 北播学区

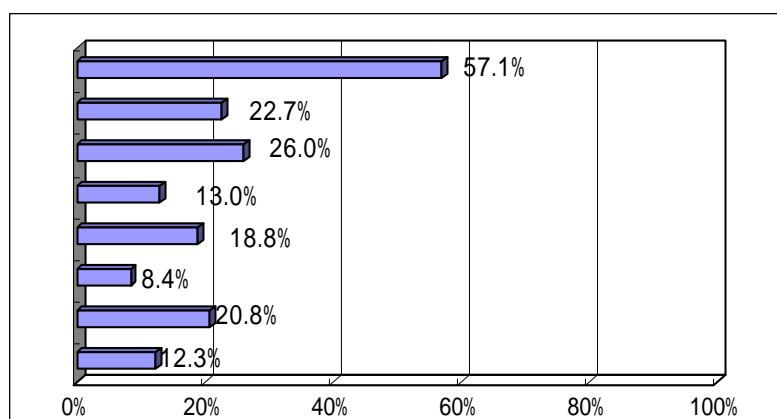
問 特色選抜において志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】



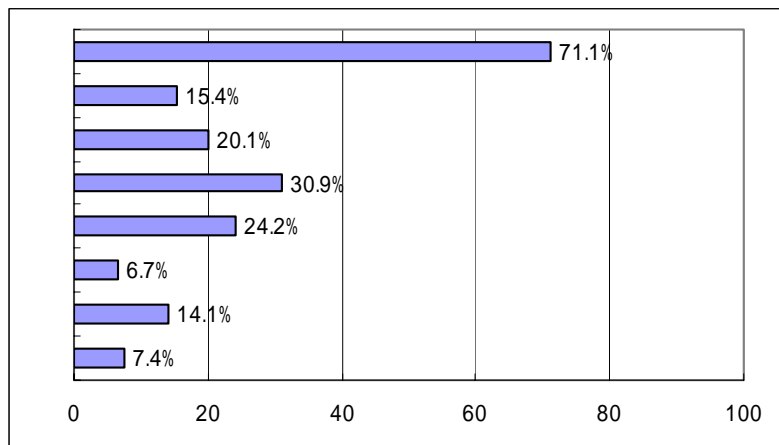
特色ある学習内容
 学校行事・特別活動
 大学等への進学や就職の状況
 部活動
 校風・学校の雰囲気
 兄弟・親戚が通学している
 (していた)
 通学時間
 その他

【参考】平成19年度
北播学区



d 尼崎学区

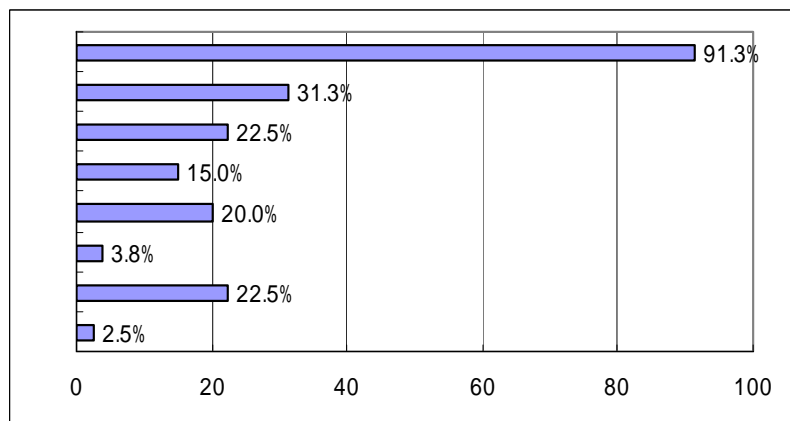
問 特色選抜において志望校の決め手となった理由は何ですか
【高校新入生回答】



- 特色ある学習内容
- 学校行事・特別活動
- 大学等への進学や就職の状況
- 部活動
- 校風・学校の雰囲気
- 兄弟・親戚が通学している(していた)
- 通学時間
- その他

e 明石学区

問 特色選抜において志望校の決め手となった理由は何ですか
【高校新入生回答】



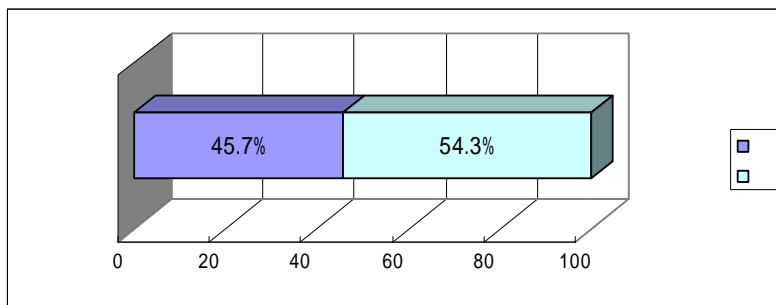
- 特色ある学習内容
- 学校行事・特別活動
- 大学等への進学や就職の状況
- 部活動
- 校風・学校の雰囲気
- 兄弟・親戚が通学している(していた)
- 通学時間
- その他

(6) 在籍する高等学校について

この項目は尼崎学区と明石学区におけるアンケートから新たに設定した項目である。明石学区では居住地優先の総合選抜ではなかったが、尼崎学区では90%が居住地優先の総合選抜であったため、多くの生徒が居住地から最も通学時間の短い学校に入学していたと考えられる。今回の結果を見ると、尼崎学区の方が明石学区よりはやや多いものの、居住地から最も通学時間の短い学校に入学した割合は半分より少ない結果であった。これはいろいろな決め手により志望校を決めたことによるものではないかと考えられる。

a 尼崎学区

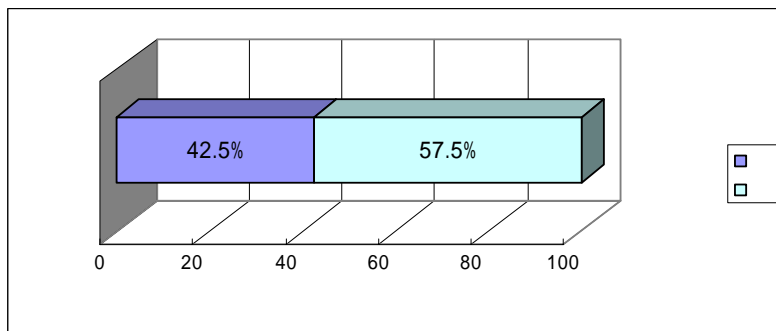
問 在籍する高等学校は、複数志願選抜実施校の中で、居住地から最も通学時間が短い学校ですか。
【高校新入生回答】



はい
いいえ

b 明石学区

問 在籍する高等学校は、複数志願選抜実施校の中で、居住地から最も通学時間が短い学校ですか。
【高校新入生回答】



はい
いいえ

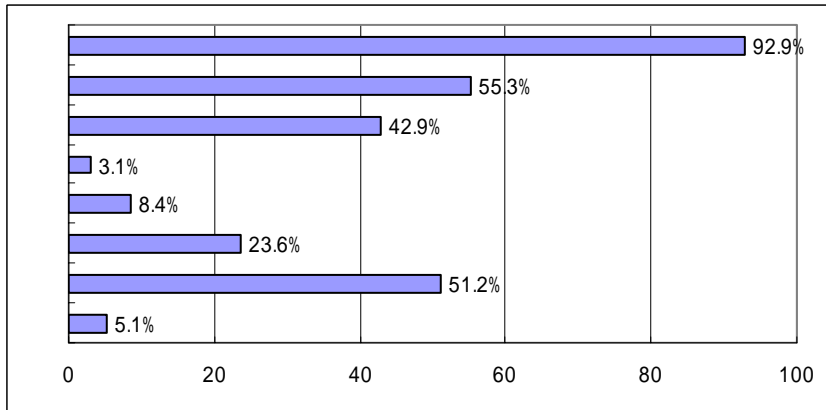
4 制度の周知・広報について
 (1) 複数志願選抜の情報源について

すべての学区において新入生・保護者の多くが「中学校の先生」と回答している。

a 加印学区

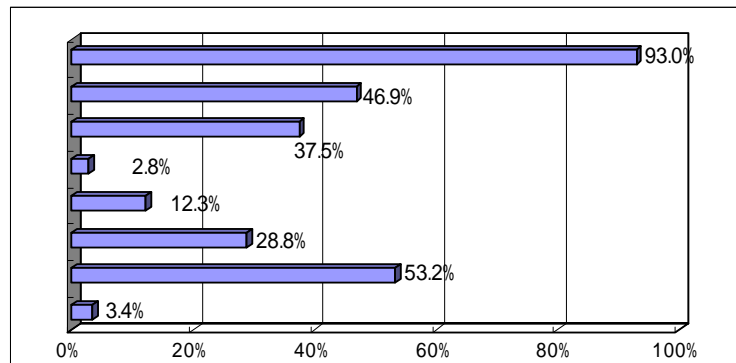
問 複数志願選抜の内容についての情報は主に誰(どこ)から得ましたか。

【高校新入生回答】

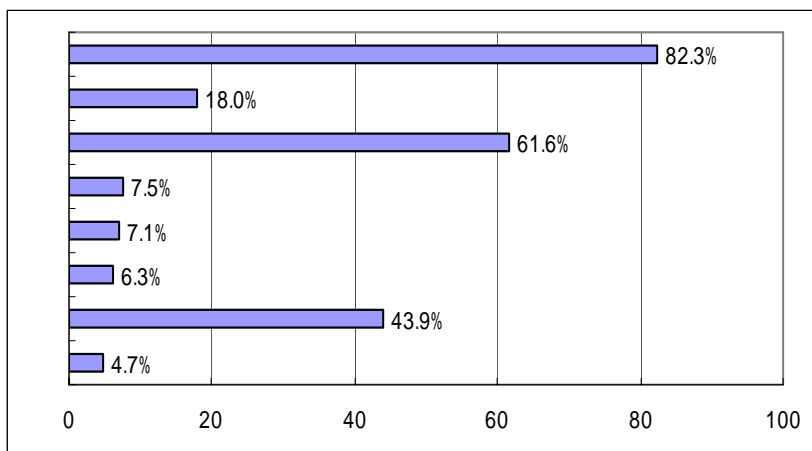


中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校(オープンハイスク
 ール等)
 塾の先生
 その他

【参考】平成19年度

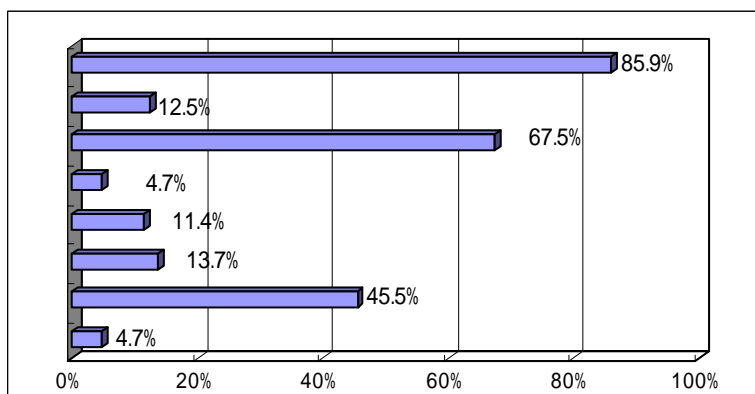


【高校新入生保護者回答】



中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校(オープンハイスク
 ール等)
 塾の先生
 その他

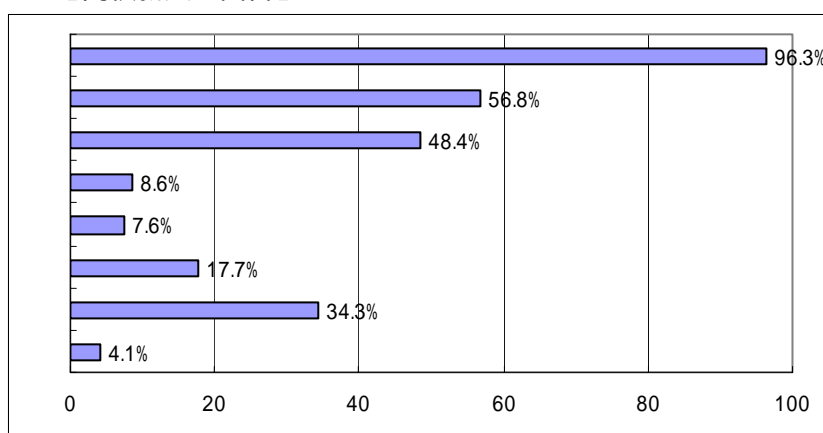
【参考】平成19年度



d 北播学区

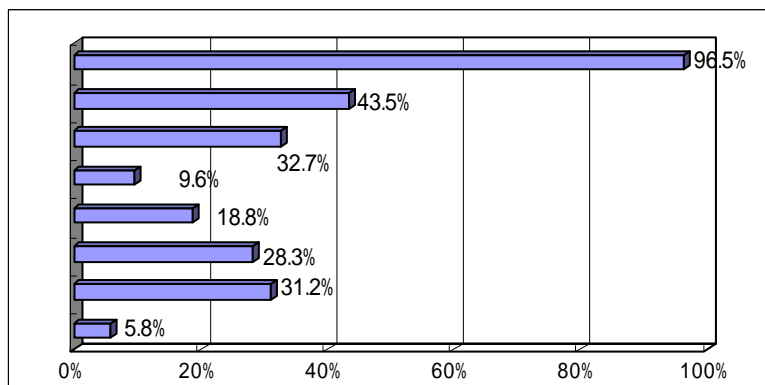
問 複数志願選抜の内容についての情報は主に誰（どこ）から得ましたか。

【高校新入生回答】

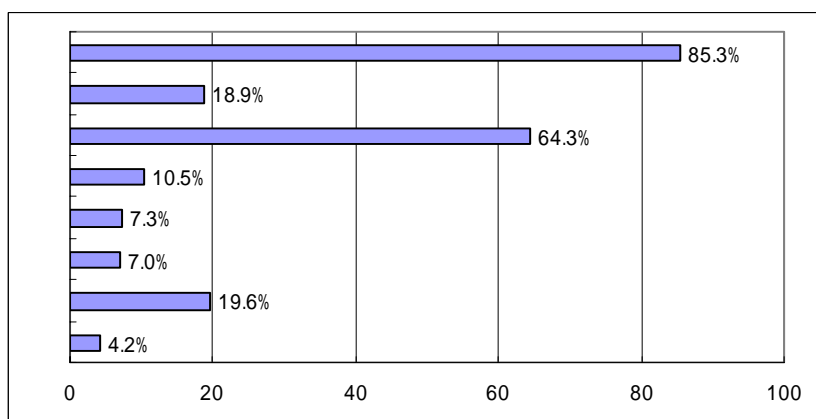


- 中学校の先生
- 家族・親戚
- 知人・先輩・友人
- 新聞
- 県教育委員会のホームページ、パンフレット
- 高等学校（オープンハイスクール等）
- 塾の先生
- その他

【参考】平成19年度

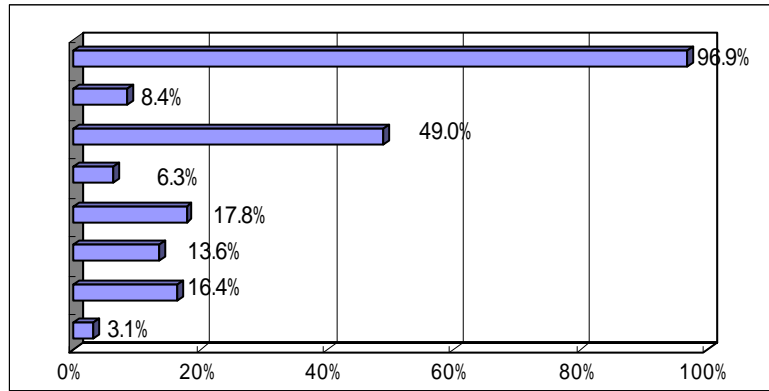


【高校新入生保護者回答】



- 中学校の先生
- 家族・親戚
- 知人・先輩・友人
- 新聞
- 県教育委員会のホームページ、パンフレット
- 高等学校（オープンハイスクール等）
- 塾の先生
- その他

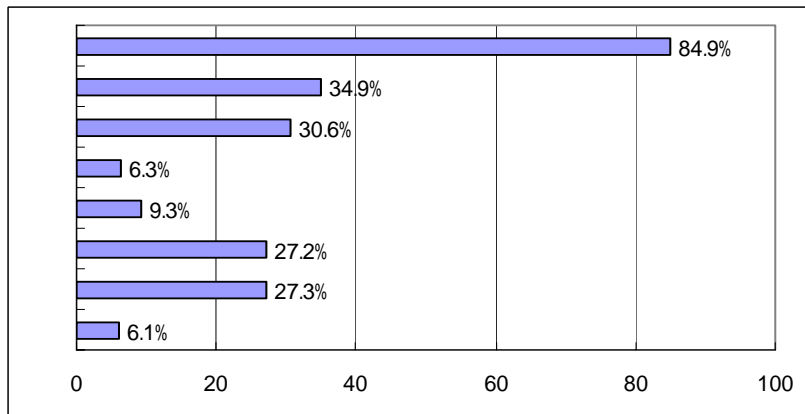
【参考】平成19年度



d 尼崎学区

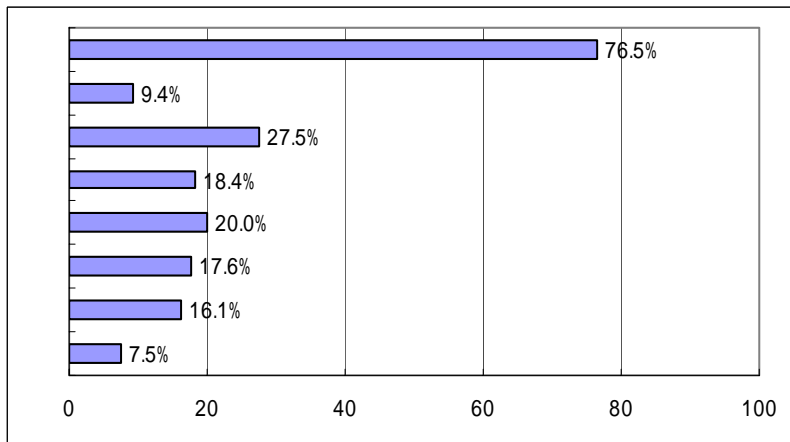
問 複数志願選抜の内容についての情報は主に誰（どこ）から得ましたか。

【高校新入生回答】



- 中学校の先生
- 家族・親戚
- 知人・先輩・友人
- 新聞
- 県教育委員会のホームページ、パンフレット
- 高等学校（オープンハイスクール等）
- 塾の先生
- その他

【高校新入生保護者回答】

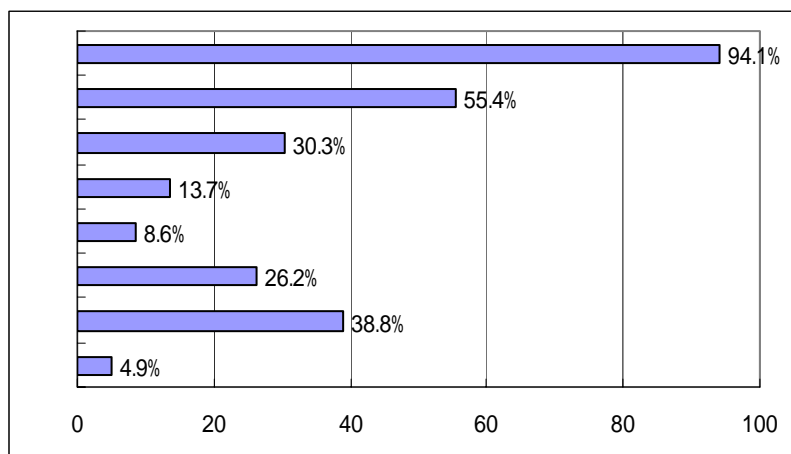


- 中学校の先生
- 家族・親戚
- 知人・先輩・友人
- 新聞
- 県教育委員会のホームページ、パンフレット
- 高等学校（オープンハイスクール等）
- 塾の先生
- その他

d 明石学区

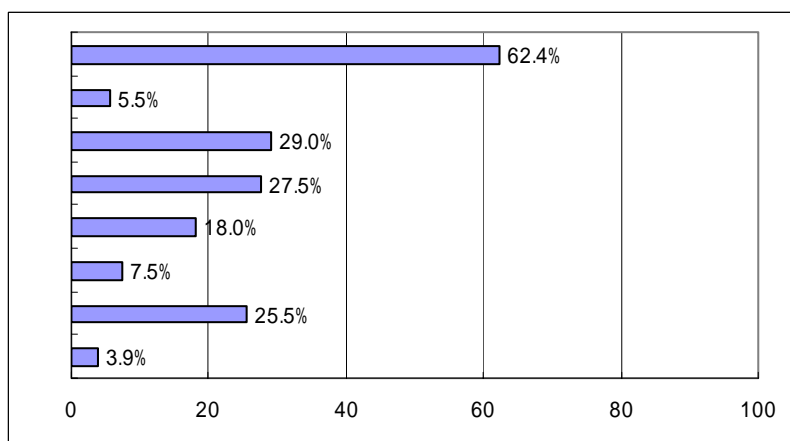
問 複数志願選抜の内容についての情報は主に誰（どこ）から得ましたか。

【高校新入生回答】



中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

【高校新入生保護者回答】



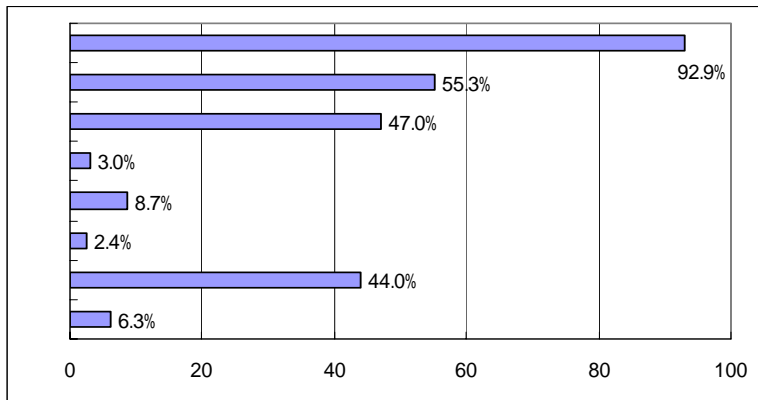
中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

(2) 特色選抜の情報源について

特色選抜においても、いずれの学区とも、新入生・保護者の多くが「中学校の先生」と回答している。

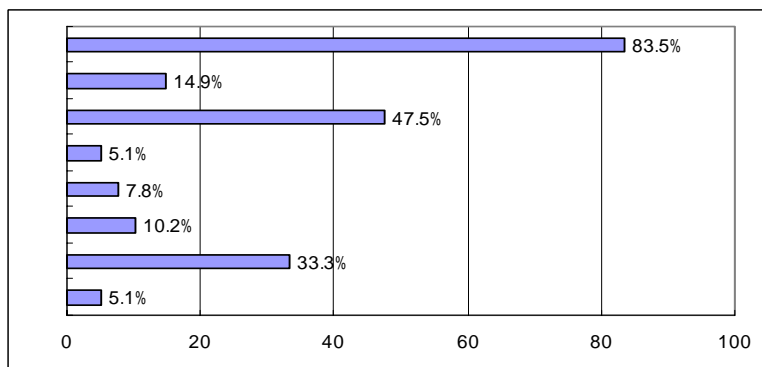
問 特色選抜の内容についての情報は主に誰(どこ)から得ましたか。

【加印学区 高校新入生回答】



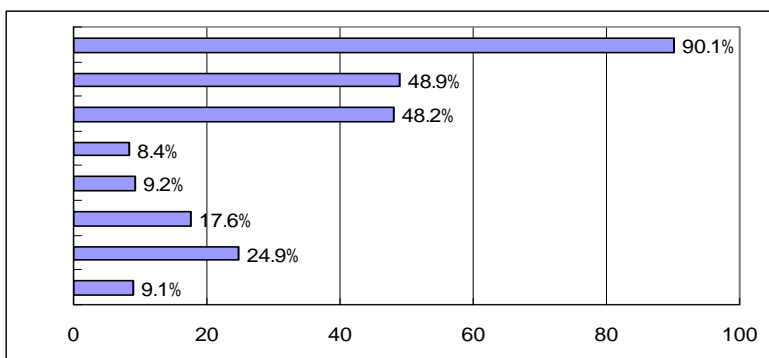
- 中学校の先生
- 家族・親戚
- 知人・先輩・友人
- 新聞
- 県教育委員会のホームページ、パンフレット
- 高等学校(オープンハイスクール等)
- 塾の先生
- その他

【加印学区 高校新入生保護者回答】



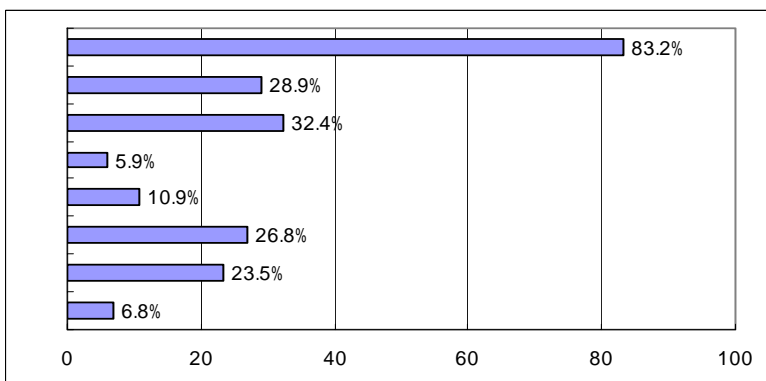
- 中学校の先生
- 家族・親戚
- 知人・先輩・友人
- 新聞
- 県教育委員会のホームページ、パンフレット
- 高等学校(オープンハイスクール等)
- 塾の先生
- その他

【北播学区 高校新入生回答】



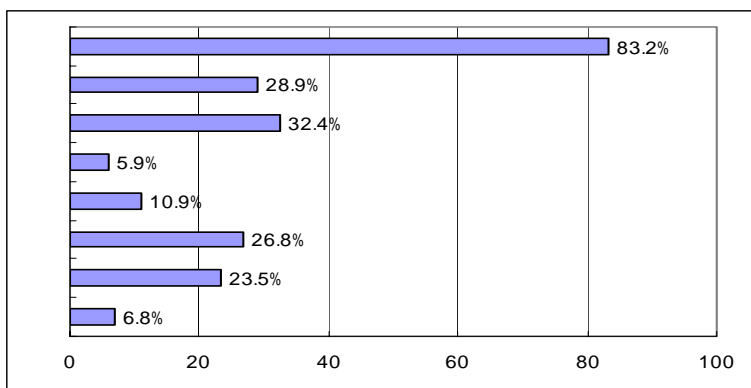
- 中学校の先生
- 家族・親戚
- 知人・先輩・友人
- 新聞
- 県教育委員会のホームページ、パンフレット
- 高等学校(オープンハイスクール等)
- 塾の先生
- その他

【北播学区 高校新入生保護者回答】



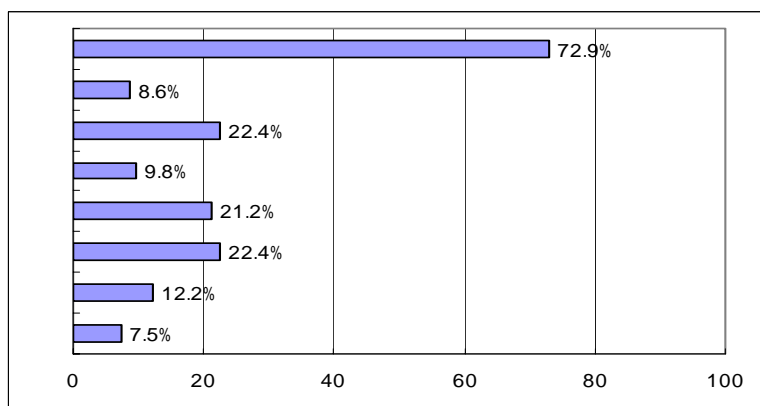
- 中学校の先生
- 家族・親戚
- 知人・先輩・友人
- 新聞
- 県教育委員会のホームページ、パンフレット
- 高等学校(オープンハイスクール等)
- 塾の先生
- その他

【尼崎学区 高校新入生回答】



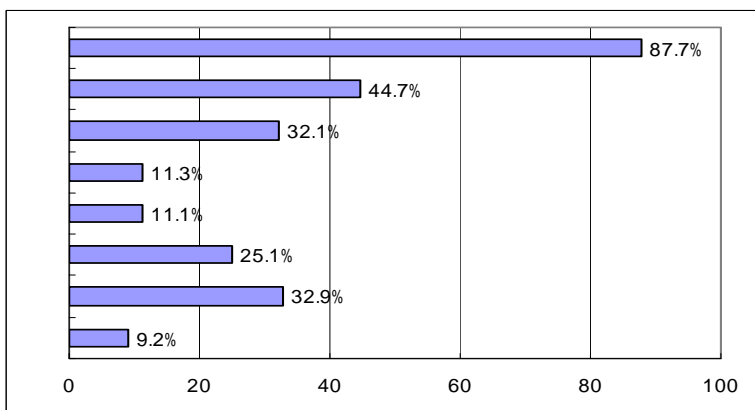
中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

【尼崎学区 高校新入生保護者回答】



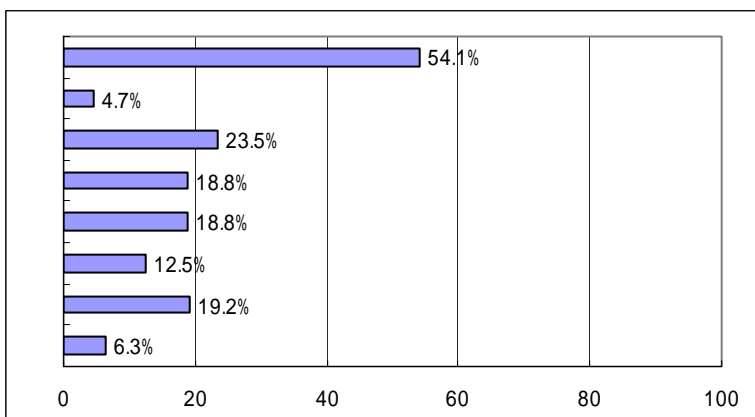
中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

【明石学区 高校新入生回答】



中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

【明石学区 高校新入生保護者回答】

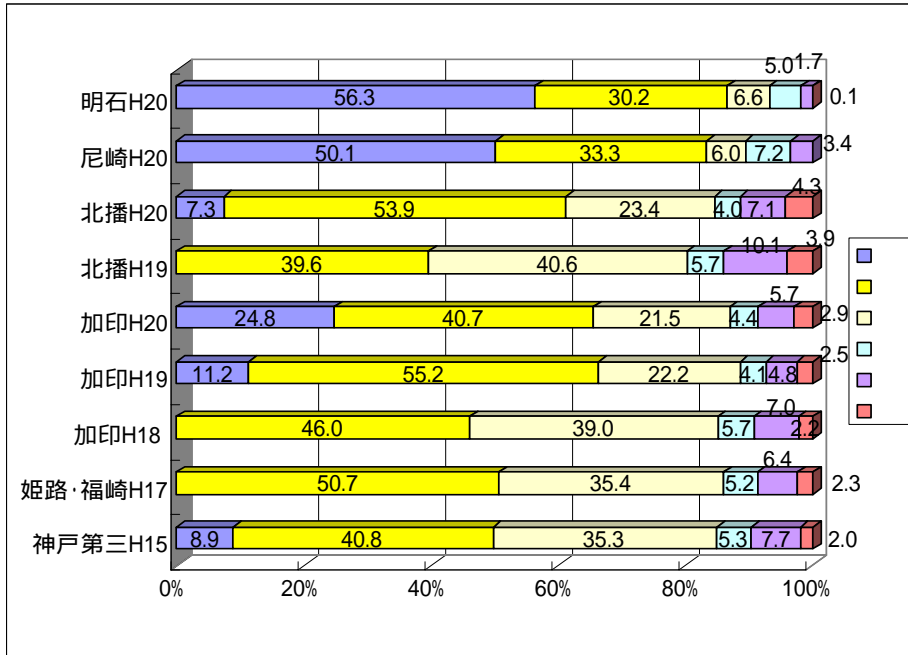


中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

(3) 複数志願選抜制度の導入を知った時期について

尼崎学区と明石学区においては、中学校 1 年生の 3 月に導入することを公表したためか、新入生では約 50 ～ 56 %、保護者では約 77 ～ 80 %が「中学 1 年生で知った」と答えている。

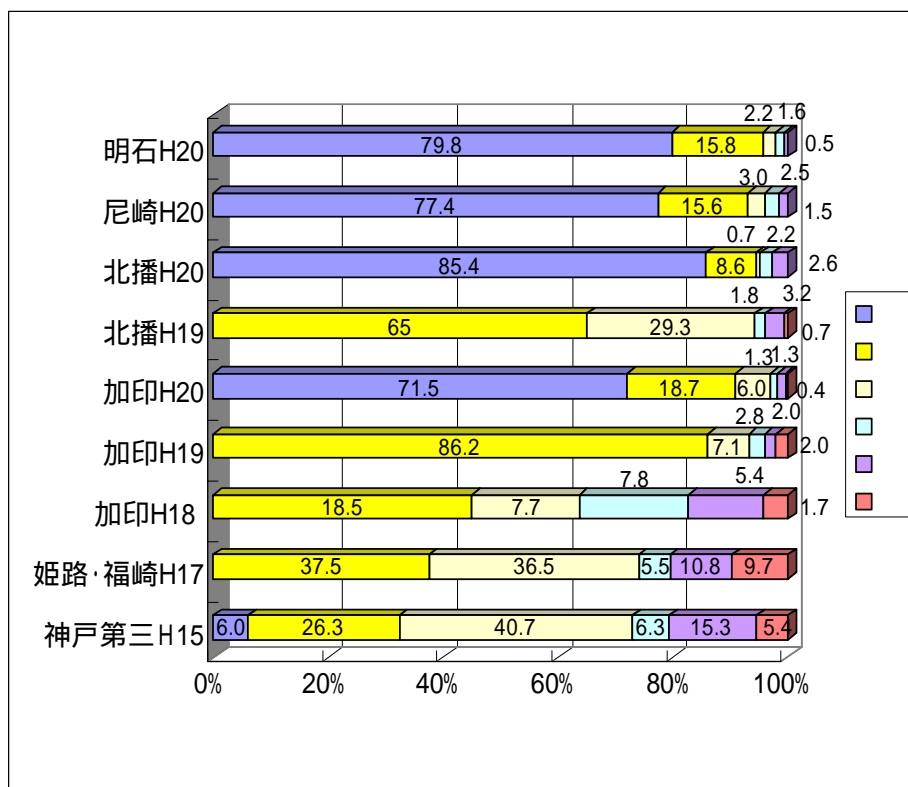
問 複数志願選抜となる事を初めて知ったのはいつ頃ですか。
【新入生回答】



中学 1 年生
 中学 2 年生
 中学 3 年生の 1 学期
 中学 3 年生の夏休み
 中学 3 年生の 2 学期
 中学 3 年生の冬休み以降

明石H20は明石学区平成 20 年度新入生をあらわす。神戸第三学区は平成 19 年度より、姫路・福崎学区は平成 20 年度よりアンケートを実施せず。神戸第三H15及び姫路・福崎H17はそれぞれ複数志願選抜初年度であり、参考までに掲載した。

【新入生保護者回答】



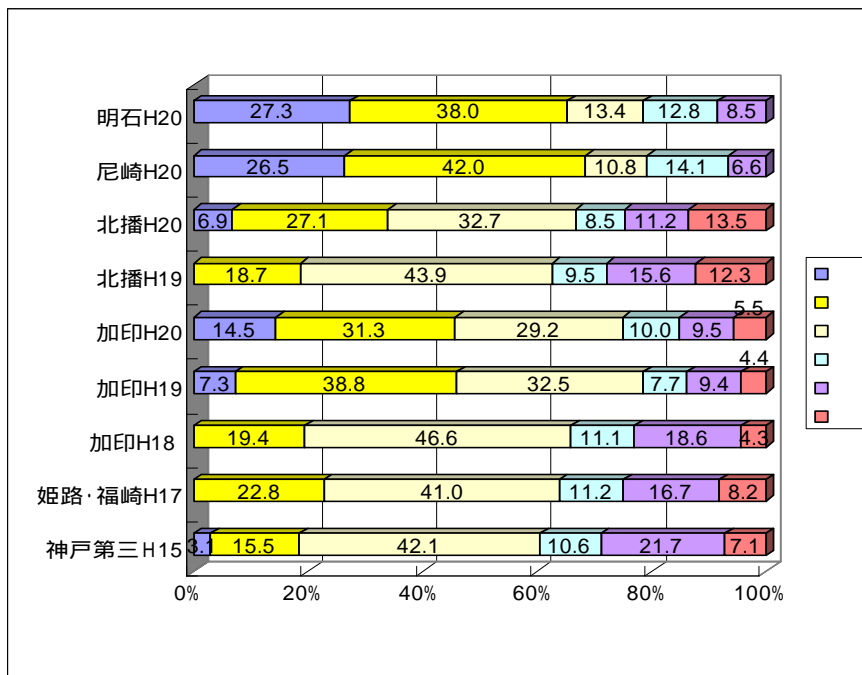
中学 1 年生
 中学 2 年生
 中学 3 年生の 1 学期
 中学 3 年生の夏休み
 中学 3 年生の 2 学期
 中学 3 年生の冬休み以降

(4) 特色選抜制度の導入を知った時期について

尼崎学区と明石学区において、中学校3年生の1学期までに知った割合は、新入生で約79%、保護者では尼崎学区約80%、明石学区約86%で他の学区の実施初年度より高い。

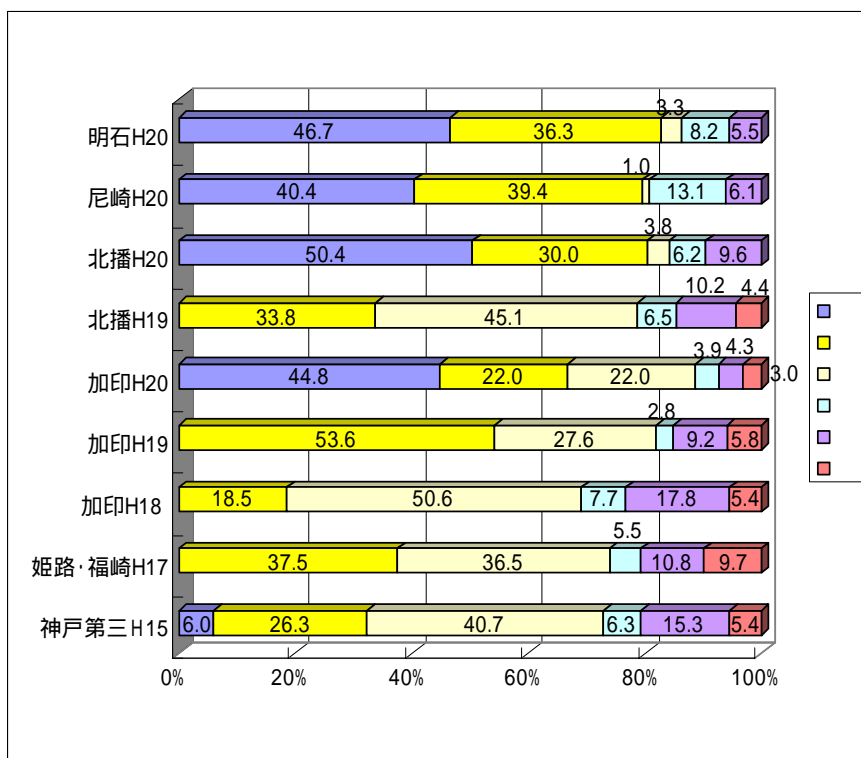
問 特色選抜となる事を初めて知ったのはいつ頃ですか。

【新入生回答】



明石H20は明石学区平成20年度新入生をあらわす。神戸第三学区は平成19年度より、姫路・福崎学区は平成20年度よりアンケートを実施せず。神戸第三H15及び姫路・福崎H17はそれぞれ複数志願選抜初年度であり、参考までに掲載した。

【新入生保護者回答】



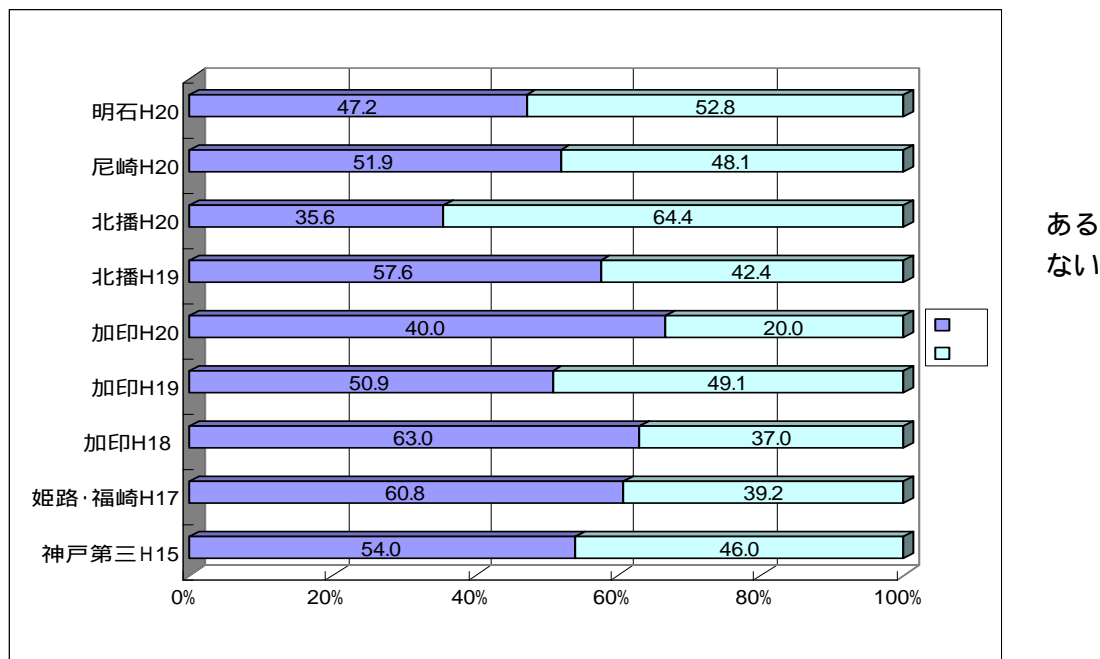
中学1年生
 中学2年生
 中学3年生の1学期
 中学3年生の夏休み
 中学3年生の2学期
 中学3年生の冬休み以降

(5) 広報用パンフレットについて

パンフレットを見たことがある割合は、尼崎学区で約52%、明石学区で約47%であるが、パンフレットを見たことがある人について内容が理解できた割合は、尼崎学区で約76%、明石学区で約80%であり、これまで導入した学区とほぼ同じである。

問 県教育委員会が作成した「新しい選抜制度（特色選抜・複数志願選抜）」のパンフレットを見たことがありますか。

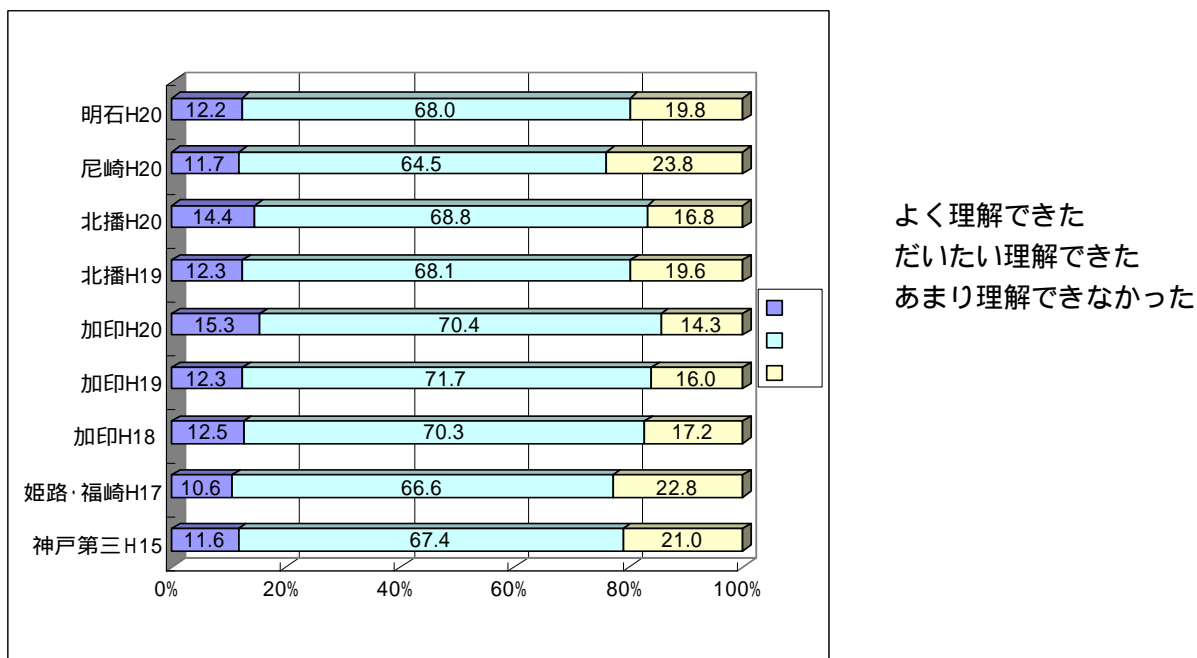
【新入生回答】



明石H20は明石学区平成20年度新入生をあらわす。神戸第三学区は平成19年度より、姫路・福崎学区は平成20年度よりアンケートを実施せず。神戸第三H15及び姫路・福崎H17はそれぞれ複数志願選抜初年度であり、参考までに掲載した。

問 「新しい選抜制度（特色選抜・複数志願選抜）」のパンフレットを見たことがある人について、内容が理解できましたか。

【新入生回答】



5 志望動向の変化について

a 神戸第三学区

問 生徒の志願の動向に、平成19年度と比べて変化がありましたか

【中学校回答】

- ・ 例年の倍率の資料により、厳しい受検であることを示したためか、特色選抜を志望する生徒が減少した。

b 姫路・福崎学区

問 生徒の志願の動向に、平成19年度と比べて変化がありましたか

【中学校回答】

- ・ 経済的な理由もあり、複数志願選抜を志望する生徒が増加傾向にある。
- ・ 専門学科を志望する生徒が増えた。
- ・ 高校によって志願者数の変動が大きくなっている。

c 加印学区

問 生徒の志願の動向に、平成19年度と比べて変化がありましたか

【中学校回答】

- ・ 昨年度専門学科の倍率が低かったため、複数志願選抜実施校の志望者が減少し、専門学科の志願者が増加した。
- ・ 年度により複数志願選抜実施校への志願者数に変化がある。

d 北播学区

問 生徒の志願の動向に、平成19年度と比べて変化がありましたか

【中学校回答】

- ・ 昨年度普通科への志願数が多かったため、総合学科や専門学科を志望する生徒が増え、複数志願選抜実施校への志願者が減少した。
- ・ 推薦入試を希望する生徒が少し増えた。

e 尼崎学区

問 生徒の志願の動向に、平成19年度（総合選抜最終年度）と比べて変化がありましたか

【中学校回答】

- ・ 昨年までほとんど地域の学校へ進んでいたが、選択肢が広くなり希望が分散した。
- ・ 私立高校を併願する生徒が少し増えた。
- ・ 公立高校への志願が多様になり、複数志願選抜実施校への志願者数も増加した。
- ・ 進路選択について広く考えるようになった。

f 明石学区

問 生徒の志願の動向に、平成19年度（総合選抜最終年度）と比べて変化がありましたか

【中学校回答】

- ・ 自分の学びたい学校が選べるということで、志望校を真剣に考えるようになった。
- ・ 私立高校併願者が少し増えた。
- ・ 近くの高校を志望するのに加え、行きたい学校を志望する傾向が強まった。
- ・ 学校選択をするために各高校の教育内容に興味を持つようになった。
- ・ 塾の指導で、成績により学校を選ぼうとする生徒もいた。

6 自由意見

a 神戸第三学区

問 その他本年度の複数志願選抜及び特色選抜についての感想があればお書き下さい。

【中学校回答】

制度を評価する意見

- ・ 制度に対する理解は深まっている。

制度の改善を求める意見

- ・ 特色選抜において、各高校の合否判定の基準がわかりにくい。
- ・ 例年ことであるが、複数志願選抜の第2志望校の指導は難しい。

b 姫路・福崎学区

問 その他本年度の複数志願選抜及び特色選抜についての感想があればお書き下さい。

【中学校回答】

制度を評価する意見

- ・ 自分の行きたい学校にチャレンジできるこの制度は、生徒、保護者に安心感を与えている。
- ・ 行ける学校ではなく、行きたい学校を志願する傾向が強くなった。
- ・ 私立高校へ経済的理由で進学できない生徒が、第2志望で救ってもらった。これも立派な合格。現在胸を張って通学している姿を見てうれしく思う。

制度の改善を求める意見

- ・ 合格判定資料Bの取り扱いがはっきりしない。
- ・ 複数志願選抜実施校どうしの志願変更ができるようにして欲しい。
- ・ 年度により高校別の志願者数の変動が大きい。定員の設定に配慮して欲しい。

【保護者回答】

制度を評価する意見

- ・ 経済的に公立に行きたいという生徒にはいい制度である。
- ・ 中学校の先生がよく説明してくれたので制度がよく理解できた。

制度の改善を求める意見

- ・ 成績のいい生徒にとって有利な制度だと思う。
- ・ 第1志望加算点の25点が妥当かどうかの検討が必要ではないか。
- ・ 合格発表の方法を工夫して欲しい。

c 加印学区

問 その他本年度の複数志願選抜及び特色選抜についての感想があればお書き下さい。

【中学校回答】

制度を評価する意見

- ・ 制度実施3年目で、生徒、保護者への説明をスムーズに行うことができた。
- ・ 公立高校に行きたい生徒にとっては有効な制度である。

制度の改善を求める意見

- ・ 単位制や総合学科の人気の高くなったため、複数志願選抜で定員割れになったのはもったいなかった。
- ・ 特色選抜において、各校が求める生徒像を明確に示して欲しい。

【保護者回答】

制度を評価する意見

- ・ 行きたい学校にチャレンジでき、ダメな時でも公立高校に入学できることはよい。

制度の改善を求める意見

- ・ 第2志望で合格した生徒の追跡調査が引き続き必要であると思う。
- ・ 特色選抜が小論文と面接による入試のため、受験勉強に力が入らなかった。特色選抜にも学力試験が必要ではないか。
- ・ 倍率が安定していないので、志望校が決めにくい。

d 北播学区

問 その他本年度の複数志願選抜及び特色選抜についての感想があればお書き下さい。

【中学校回答】

制度を評価する意見

- ・ 特色選抜をする学校のカリキュラムの周知は大分進んでいる。さらにPRをして欲しい。

制度の改善を求める意見

- ・ 住んでいる地域によっては交通の便が悪く、志願できる高校が限定されるところもある。
- ・ 特色選抜について、受検の機会が増えただけととらえる志願者や保護者もいる。また、自己推薦のため適切な指導ができにくい面もあった。
- ・ 第2志望で合格した生徒の動向を追跡調査して欲しい。

【保護者回答】

制度を評価する意見

- ・ 第1志望の高校に思い切ってチャレンジできるありがたい制度である。
- ・ 私学が遠方で通学しにくい地域なので、公立高校への進学がしやすい制度である。

制度の改善を求める意見

- ・ 複数志願選抜対象校を普通科だけでなく専門学科も含めてはどうか。
- ・ 特色選抜で入学した生徒が別々のHRに入ると、生徒の意識がまとまらないのではないかと。
- ・ 志願変更しても加算点がもらえるよう検討して欲しい。

e 尼崎学区

問 その他本年度の複数志願選抜及び特色選抜についての感想があればお書き下さい。

【中学校回答】

制度を評価する意見

- ・ 行きたい学校へ志願できるという点で、生徒や保護者にとっては良かった。
- ・ 入試制度が変わって教師側は大変だったが、生徒や保護者は志望通りの学校を選択できるようになってよかったと思う。

制度の改善を求める意見

- ・ 複数志願選抜では志願者に偏りが生じた。
- ・ 特色選抜について、特色が分かりにくい高校があった。今後、より具体的な説明をして欲しい。
- ・ 人気が高いと考えられていた学校の志願者数が少なくなるなど、加算点15点が良かったかどうかの検証が必要である。

【保護者回答】

制度を評価する意見

- ・ 中学校の延長ではなく、色々な中学校から集まり、新しい出会いがあり、高校生という自覚を持ってスタートできている。
- ・ 戸惑いもあったが、子どもたちが行きたい学校を選べるということはとてもいいと思う。
- ・ いい意味での競争心が高まっていくと思う。

制度の改善を求める意見

- ・ 特色選抜の学習内容が十分分からなかった。丁寧に説明して欲しい。
- ・ 成績の良い生徒には選択肢が広がってよいが、それ以外の生徒にはあまりメリットがないのではないかと。高校の格差ができることを心配する。
- ・ 志望者の段階で、定員をオーバーしている学校と定員割れをした学校の差が大きかったように思う。

f 明石学区

問 その他本年度の複数志願選抜及び特色選抜についての感想があればお書き下さい。

【中学校回答】

制度を評価する意見

- ・ 総合選抜の時と比べ、生徒が熱心に勉強に取り組むようになった。
- ・ ほとんどの生徒がその他校希望ありで出願した。この制度がセーフティネットとして機能している。

制度の改善を求める意見

- ・ 初年度ということで、特色選抜があまり浸透していなかった。特色の内容についてもっと明らかにして欲しい。
- ・ 塾の指導により高校のランクを気にする生徒がいるため、今後、成績によるランクがついていくことが心配である。

【保護者回答】

制度を評価する意見

- ・ 努力すれば自分の志望する高校へ行けるというシステムは、子どもにやる気を起こすやり方で望ましい。
- ・ 1年目はかなり混乱するといわれていたが、混乱はなかった。

- ・ もっと早い時期に総合選抜をやめるべきであった。
- ・ 自分が志望する高校へ入学できる可能性が高く、なおかつ第2志望やそれ以外の高校へも行くこともできるので良い制度である。

制度の改善を求める意見

- ・ 選抜制度は概ね理解はできたが、それぞれの高校の特色は十分に分からなかった。説明会等を増やして欲しい。
- ・ 子どもの目標の意識づけや勉強する意欲が向上するので、オープンハイスクールに中学2年生にも参加できる機会を与えていただきたい。
- ・ 加算点の仕組みにより、第1志望をどこにするかを考えることが難しい。
- ・ 総合選抜の時と違い、塾の先生から「合格の確率 %」などと評価され、競争の波にもまれた感じがした。